

ソフトウェア開発者マニュアル
P-touch Template 2.0 コマンドリファレンス
PJ-823/863/883
Version 1.00

brother のロゴはブラザー工業株式会社の登録商標です。

ブラザーは、ブラザー工業株式会社の登録商標です。

© 2021 Brother Industries, Ltd. All rights reserved.

Bluetooth とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, Inc. の登録商標で、ブラザー工業はライセンスに基づき使用しています。

BarStar Pro Encode Library (PDF417, Micro PDF417, DataMatrix, MaxiCode, AztecCode, GS1 Composite, GS1 Databar, Code93, MSI/Plessey, POSTNET, Intelligent Mail Barcode)
Copyright(C) 2007 AINIX Corporation. All rights reserved.

QR コードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。

QR コード生成プログラム Copyright © 2008 DENSO WAVE INCORPORATED

Zebra, ZPL and ZPL II are registered trademarks of ZIH Corporation.

ESC/P はセイコーエプソン株式会社の登録商標です。

Portions of this software are copyright © 2014 The FreeType Project (www.freetype.org). All rights reserved.

本ガイドに製品名が記載されている各ソフトウェアの開発会社は、著作プログラムに特定したソフトウェアライセンス契約を有します。

ブラザー製品および関連資料等に記載されている社名及び商品名はそれぞれ各社の商標または登録商標です。

重要なお知らせ - 必ずお読みください

ご注意

本資料は、お客様が直接 PJ-8XX プリンター（「8XX」は、お客様がお持ちのモデル名）を制御される場合に必要な情報を提供するものです。

お客様が以下の内容にご同意いただいた場合のみ、本資料のご利用が可能です。

もしご同意いただけない場合は、お客様は本資料をご利用いただけません。

ご利用条件

お客様は、お客様ご自身で PJ-8XX プリンターをご利用いただくため（以下「本目的」といいます）に必要な範囲においてのみ、本資料を使用し、複製することができるものとします。なお、お客様は次のことを行ってはならないものとします。

- (i) 本目的以外の目的で本資料を複製すること
- (ii) 本資料を改変し、翻案・翻訳し、または第三者に再頒布すること
- (iii) 本資料を第三者に貸与・提供すること
- (iv) 本資料に含まれるブラザーの権利に関する表示を削除・改変すること

無保証

- a. 対応機種および本資料のバージョンアップや修正等はブラザーが任意で行うものとし、お客様からの本資料の内容に関するお問い合わせまたはご要望に対しては一切応じかねます。
- b. ブラザーは本資料に関し、明示または黙示であるかを問わず、瑕疵がないこと、特定の目的に適合することを含め、その他いかなる保証も行いません。
- c. ブラザーは本資料および本資料に基づきお客様が作成したプログラムに起因して発生した直接的または間接的損害について、お客様に対し、いかなる責任も負わないものとします。

 目次

はじめに.....	3
P-touch Template 2.0 とは？	4
1. P-touch Template 2.0 の使い方	5
2. P-touch テンプレート設定ツール説明	6
3. コマンド使用例	10
3.1 P-touch Template の使用例	10
3.2 P-touch Template 2.0 ログ/外字(ビットマップ) 使用例.....	16
4. P-touch Template 2.0 制限事項	19
4.1 テキストオブジェクトに関して	19
4.1.1 フォント、サイズ等	19
4.1.2 文字の配置について	20
4.1.3 文字の装飾、レイアウト	21
4.2 バーコードに関して	23
4.2.1 バーコード(全体)	23
4.2.2 1次元バーコードについて	24
4.2.3 2次元バーコードについて	25
4.3 イメージに関して	26
4.4 ナンバリングに関して	26
4.5 その他	27
4.5.1 テンプレートの転送について	27
4.5.2 テンプレート内のオブジェクト	27
5. 注意事項	28
5.1 静的コマンド使用時のご注意	28
5.2 Bluetooth 使用時(オプション)のご注意	28
5.3 P-touch Editor の設定と本体イメージの相関表	29
5.4 印刷までの時間を速くするテンプレートの作成方法	30
6. コマンド対応一覧	31
6.1 P-touchTemplate コマンド	31
6.2 各種設定コマンド (モード共通)	32
6.3 各種設定コマンド	33
6.4 プリンター制御コマンド	33
7. P-touch Template コマンド詳細	34
^II 初期化	34
^TS テンプレート選択設定	35
^FF 印刷開始	36
^CN コピー印刷枚数設定	37
^NN ナンバリング印刷枚数設定	38
^ID テンプレートナンバリングデータ初期化	38
^PT 印刷開始トリガー選択	39
^PS 印刷開始コマンド文字列設定	40
^PC 印刷開始受信文字数設定	41
^SS 区切り記号指定	42
^LS 改行時の行間設定	43

^CC	プレフィックス文字の変更	44
^RC	改行コマンド文字列設定	45
^QV	QR コードバージョン設定	46
^FC	FNC1 置換設定	47
^OP	本体動作実行(フィード)	48
^SR	ステータスリクエスト	49
^VR	バージョン情報取得	51
^CR	オブジェクト内での改行	52
^OS	オブジェクト選択設定(オブジェクト番号)	53
^ON	オブジェクト選択設定(オブジェクト名)	54
^DI	オブジェクト直接挿入	55
8. 各種設定コマンド詳細		56
ESC iXT2	印刷開始トリガー選択	56
ESC iXT1	印刷開始トリガー選択項目取得	57
ESC iXP2	印刷開始コマンド文字列設定	58
ESC iXP1	印刷開始コマンド文字列取得	59
ESC iXr2	印刷開始受信文字数設定	60
ESC iXr1	印刷開始受信文字数取得	61
ESC iXD2	区切り記号指定	62
ESC iXD1	区切り記号取得	63
ESC iXa2	読み捨て文字列設定	64
ESC iXa1	読み捨て文字列取得	65
ESC iXi2	コマンドモード設定	66
ESC iXi1	コマンドモード設定値取得	67
ESC iXn2	テンプレート選択設定	68
ESC iXn1	テンプレート選択番号取得	69
ESC iXf2	プレフィックス文字変更	70
ESC iXf1	プレフィックス設定文字取得	71
ESC iXm2	文字コードセット選択	72
ESC iXm1	文字コードセット設定値取得	73
ESC iXj2	国際文字設定	74
ESC iXj1	国際文字設定値取得	75
ESC iXR2	改行コマンド文字列設定	76
ESC iXR1	改行コマンド設定文字列取得	77
ESC iXC2	コピー印刷枚数設定	78
ESC iXC1	コピー印刷枚数設定値取得	79
ESC iXN2	ナンバリング印刷枚数設定	80
ESC iXN1	ナンバリング印刷枚数設定値取得	81
ESC iXF2	FNC1 置換設定	82
ESC iXF1	FNC1 置換設定取得	83
ESC iXE2	バーコード余白有無設定	84
ESC iXE1	バーコード余白有無取得	85
ESC iXh2	印刷方向設定	86
ESC iXh1	印刷方向取得	87
ESC iX^2	印刷停止位置指定	88
ESC iX^1	印刷停止位置取得	89
ESC iXv2 (08h) Network Raw	ポート双方向通信指定	90
ESC iXv1 (08h) Network Raw	ポート双方向通信設定取得	91
9. 各種設定コマンド詳細(ラスターモード専用)		92
ESC iOUD1	全角スペース幅調整有無設定	92
ESC iOUD0	全角スペース幅調整有無取得	93
ESC iOUe1	装飾タグ文字列設定	94
ESC iOUe0	装飾タグ文字列取得	95
10. プリンター制御コマンド詳細		96
ESC i a	コマンドモード切替	96
ESC i U x	再起動	97

ESC i S ステータスリクエスト	98
11. ZPL II エミュレーションサポートコマンド.....	99
付録 A: 仕様	103
付録 B: 文字コード一覧表	104
文字コード一覧表.....	104
国際文字セット表	105
付録 C: トラブルシューティング	106
印刷が開始されない場合(よくある主な原因)	106
バーコードが印刷されない(よくある主な原因).....	106
付録 D: 開発者ツールサイト(Brother Developer Center)のご紹介.....	107

はじめに

本書はプリンターへ転送したレイアウトにデータを流し、PC 以外の端末を直接制御して印刷する方法が記されています。

本書は、お客様の開発環境におけるプログラミングに関しての知識がある方への説明書となっております。

本書の画面に登場するモデル名は、お使いのプリンター名称に置き換えてお読み下さい。

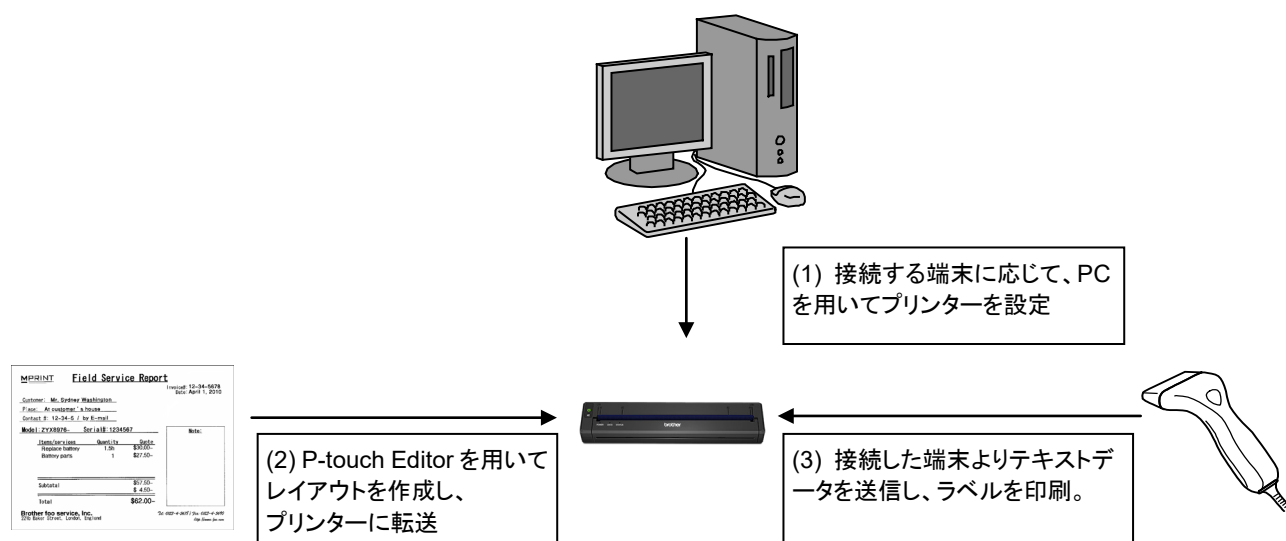
万一、本書を元にプログラムを開発したにもかかわらず、プリンター及び、P-touch Template を用いたシステムなどのデータが消えたり変化した場合、生じた損害や逸失利益、または第三者からのいかなる請求につきましても、当社では一切その責任を負えませんので、あらかじめご了承ください。加えて、本書はいかなる請求の証拠にもなり得ませんので、あらかじめご了承ください。

また、本書の内容の一部または全部を無断で複製、転載することは禁じられています。

P-touch Template 2.0 とは？

P-touch Template 2.0 は端末からの直接印刷を可能にするシステムの開発をサポートするツールで、下記の機能があります。

- P-touch Editor からプリンターへテンプレートデータを転送します。→(2)
- ASCII テキストやバイナリデータを、ホストからプリンター内のテンプレートに転送します。→ (3)
(ここでいう「ホスト」は、バーコードリーダーやスマートフォンなどの携帯端末をいいます。)
- 転送されたデータを印刷します。→ (3)
(下図を参照してください。)



P-touch Template 2.0 コマンドは、プレフィックスの 1 文字コードおよび 2 文字の文字列で構成されます。このプレフィックスコードが転送されると、プリンターは P-touch Template 2.0 のコマンド解析を開始します。プレフィックスコードに続く 2 文字の文字列が適切なコマンドであれば、所定の処理を開始します。コマンドには静的コマンド、動的コマンドの 2 つがあり、静的コマンドによって設定された項目は、電源を OFF にしても値は記憶されます。動的コマンドによって設定された項目は、電源を OFF にするまで有効です。

注意：

- * 機器によっては、P-touch Template 2.0 でデータを転送できないものもあります。
- * 必ずデータ転送の I/F が装備されているホストを使用してください。

1. P-touch Template 2.0 の使い方

(1) プリンター本体設定

お使いのプリンターの接続先の環境や接続端末に合わせて、「P-touch テンプレート設定」を作動させて、プリンター本体をセットアップします。

(「[2. P-touchテンプレート設定ツール説明](#)」参照)

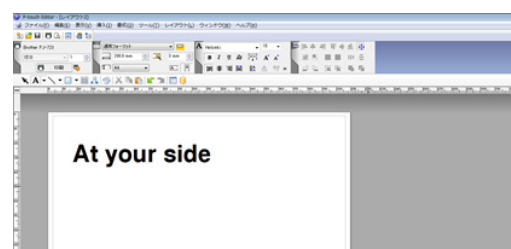
あらかじめ USB 接続によりプリンタードライバーをインストールしてください。



(2) レイアウトの作成

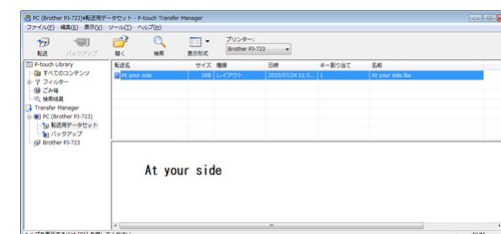
P-touch Editor でプリンター本体に転送するレイアウトを作成します。

(「[4. P-touch Template 2.0 制限事項](#)」参照)



(3) レイアウトの転送

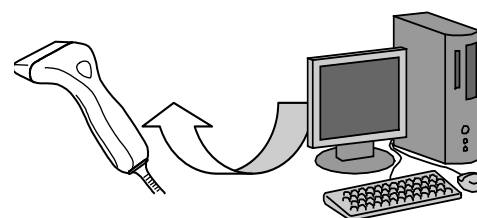
P-touch Transfer Manager を使用して、レイアウトをプリンター本体に転送します。



(4) P-touch Template 2.0 コマンドによるプログラム

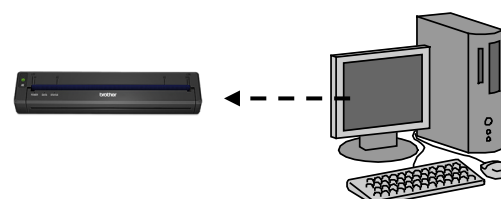
プリンター本体を制御するために特別なコマンドが必要であれば、P-touch Template 2.0 コマンドリファレンスに従って接続する端末のプログラムを変更してください。

(「[6. コマンド対応一覧](#)」参照)



(5) 端末との接続から印刷

接続する端末からテキストデータをプリンター本体へ送り、帳票等を印刷します。



2. P-touch テンプレート設定ツール説明

コマンドモードをP-touch Templateモードに設定します。
 転送したテンプレートを設定するために必要なデータを入力して下さい。
 コマンドモードを他のモードに変更する場合は、[本体設定]を使用して下さい。
 テキストボックスに制御コードを入力するには、ASCIIコード[00-FF]の前に¥マークを
 つけてください。
 例) TAB: ¥09, CR: ¥0D, ¥: ¥¥ 各1バイト

コマンドモード(F): P-touch Template (1) コマンドモード選択 (固定)

テンプレート番号初期値(T): 1 (2) テンプレート番号選択

区切り記号(-): ¥09 (3) 区切り記号設定

印刷開始トリガ (4) 印刷開始トリガ設定

☒ 印刷開始コマンド文字列(O): ^FF (5) 印刷開始コマンド文字列設定
☐ すべてのオブジェクトのデータ取得後(I)
☐ 指定データサイズ受け取り後(V): 10 (6) 印刷開始データ数設定

文字コードセット(H): Unicode (7) 文字コードセット選択

国際文字(N): Japan (8) 国際文字設定

プレフィックス文字(X): ^ (9) プレフィックス文字設定

読み捨て文字列(R): (10) 読み捨て文字列設定

改行コード(E): ^CR (11) 改行コード文字列設定

☐ FNC1置換(I) (12) FNC1 置換設定

印刷オプション

印刷枚数(B): 1 (13) コピー枚数設定

既定値に戻す(D)

設定(S) キャンセル

プリンター本体に(1)~(13)の設定値をセットします。

ツールを閉じます。

(1)~(13)の設定値をデフォルトに戻します。

(1) コマンドモード選択

- P-touch Template モードをデフォルトモードとして指定します。

(2) テンプレート番号選択

電源 ON 時に、デフォルトで選択されるテンプレート番号を設定します。

ただし、プリンター本体に転送されていないテンプレート番号を設定することはできません。

(3) 区切り記号設定

区切り記号とは、データの流し込み対象を、次のオブジェクトに移行する時に使う記号です。

1～20 文字の文字列で設定します。

(4) 印刷開始トリガ設定

印刷開始トリガを、以下の 3 つの中から 1 つ選択します。

- 印刷開始コマンド文字列受信時

((5)で設定した印刷開始コマンド文字列を受信した時、印刷を開始します。)

- 全てのオブジェクトが埋まった時

(最終オブジェクトで、区切り記号を受信した時、印刷を開始します。)

- 設定されている文字数受信時

((6)で設定した文字数を受信した時、印刷を開始します。ただし区切り記号は文字数にカウントされません。)

(5) 印刷開始コマンド文字列設定

1～20 文字の文字列で設定します。

(6) 印刷開始データ数設定

印刷開始データ数は、1～999 の値で設定が可能です。

(7) 文字コードセット選択

以下の文字コードセットのいずれかを選択します。

- JIS X 0201(日本)
- Unicode (UTF-8)

(8) 国際文字設定

各国別の文字セットを、以下から選択してください。

- USA
- フランス
- ドイツ
- イギリス
- デンマーク I
- スウェーデン
- イタリア
- スペイン I
- 日本
- ノルウェー
- デンマーク II
- スペイン II
- ラテンアメリカ
- 韓国
- リーガル

上記選択の国により、以下の 12 コードが切り替わります。

23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh

切り替わる文字に関しては、「付録B: 文字コード一覧表」の「[国際文字セット表](#)」を参照してください。

(9) プレフィックス文字設定

プレフィックス文字コードを変更します。1 文字の文字コードで設定します。

プレフィックス文字とは、P-touch Template モードで使えるコマンドを識別するための先頭文字コードです。

(10) 読み捨て文字列設定

ここで指定された文字列は、データ受信時に読み捨てられます。1～20 文字の文字列で設定します。

(11) 改行コード文字列設定

改行コードとは、データ流し込み時、以降のデータをテキストオブジェクト内の次の行に移動したいときに使うコードです。改行コードを以下の 4 つの選択肢から選択するか、1～20 文字の文字列で設定します。

1. ^CR
2. ¥0D¥0A
3. ¥0A
4. ¥0D

(12) FNC1 置換設定

バーコード規格 GS1-128 (UCC/EAN-128)などに含まれる GS コードを、FNC1 コードに置き換える機能を設定します。チェックボックスにチェックを入れると、受信した GS コードを FNC1 コードに置き換えます。チェックをはずすと、受信した GS コードはそのまま出力されます。

(13) コピー枚数設定

コピー枚数を設定します。1～99 枚まで設定可能です。

その他・ **テキストボックス(3), (5), (9), (10), (11)への文字入力**

テキストで入れられる文字はテキストで入力し、制御コードなどは、¥マークを前につけて ASCII コード[00 - FF]で入力ができます。

例

PRINT	PRINT
TAB 制御コード	¥09
復帰制御コード	¥0D
¥	¥¥

3. コマンド使用例

3.1 P-touch Templateの使用例

A4 用紙の文書を作ってみます。



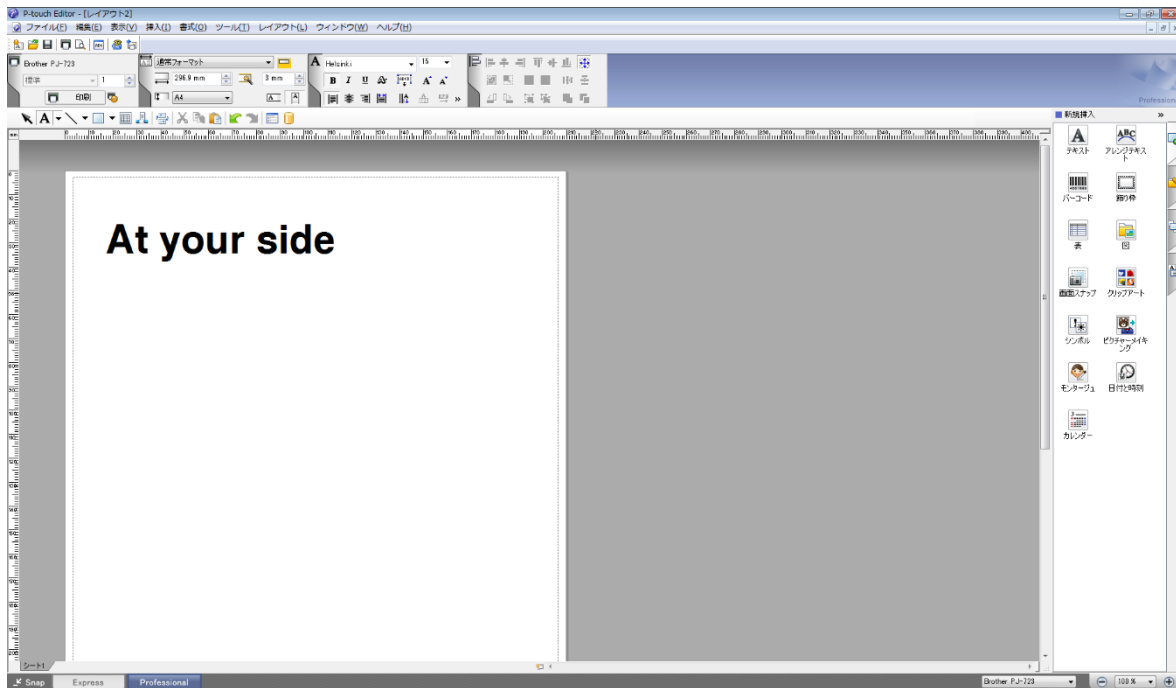
ステップ

1. P-touch Editor を用いてテンプレートを作成する
2. P-touch Transfer Manager に作成したテンプレートを転送する
3. テンプレートを P-touch Transfer Manager からプリンターへ転送する
4. P-touch Template 2.0 コマンドを使用し、印刷する

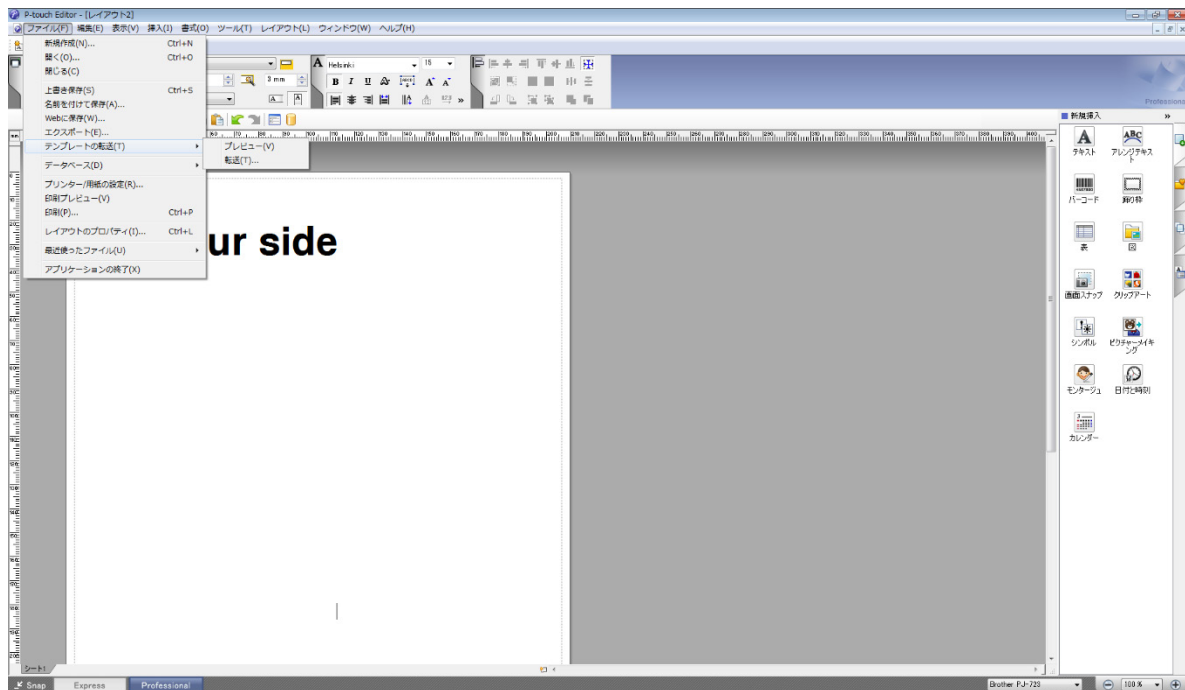
ステップ 1: P-touch Editor を用いてテンプレートを作成する

P-touch Editor を立ち上げ、ラベルを作成します。

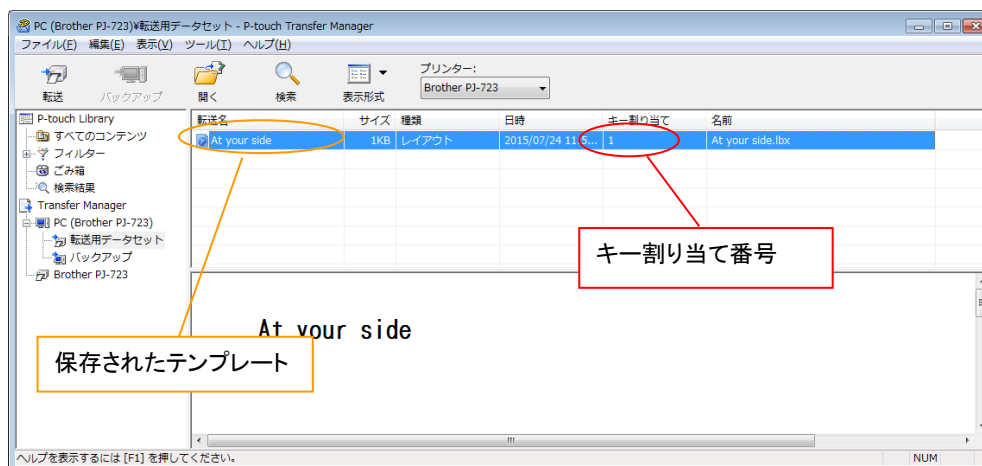
この例では、P-touch Editor は Professional モードで操作します。



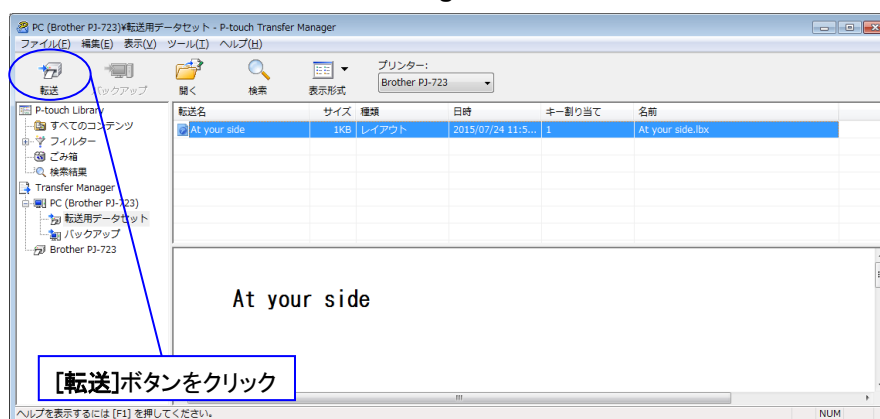
ステップ 2: P-touch Transfer Manager に作成したテンプレートを転送する



ステップ 2 で転送されたテンプレートは以下のように P-touch Transfer Manager に保存されます。



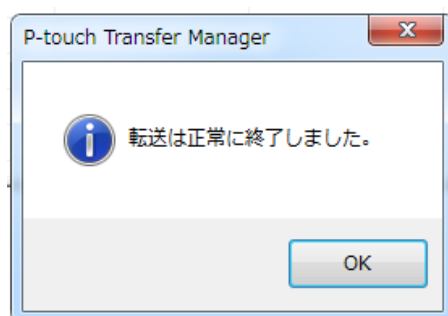
ステップ 3: テンプレートを P-touch Transfer Manager からプリンターへ転送する



注意:

P-touch Transfer Manager を使用する前に、必ずプリンターの電源を ON にして USB により PC と接続しておいてください。さらに、通信設定は必ず双方向通信としてください。

プリンターにテンプレートが転送されると、以下のようなメッセージが表示されます。

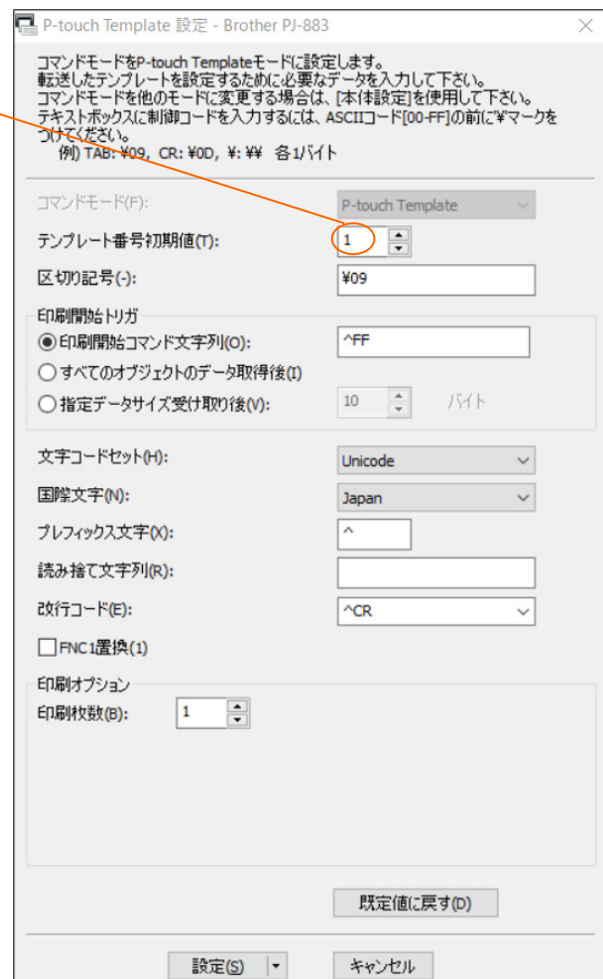


ステップ 4: P-touch Template 2.0 コマンドを使用し、印刷する

P-touch Template コマンドを使用する際、以下の 3 つのコマンドが少なくとも必要となります。

そのうち 1 つは P-touch テンプレート設定ツールから設定することが可能です。

キー割り当て番号の選択



コマンドモードをP-touch Templateモードに設定します。
転送したテンプレートを設定するために必要なデータを入力して下さい。
コマンドモードを他のモードに変更する場合は、[本体設定]を使用して下さい。
テキストボックスに制御コードを入力するには、ASCIIコード[00-FF]の前に¥マークを
つけてください。
例) TAB: ¥09, CR: ¥0D, ¥: ¥¥ 各1バイト

コマンドモード(F): P-touch Template

テンプレート番号初期値(T): 1

区切り記号(-): ¥09

印刷開始トリガ

☒ 印刷開始コマンド文字列(O): ^FF

☐ すべてのオブジェクトのデータ取得後(I)

☐ 指定データサイズ受け取り後(V): 10 バイト

文字コードセット(H): Unicode

国際文字(N): Japan

プレフィックス文字(X): ^

読み捨て文字列(R):

改行コード(E): ^CR

☐ FNC1置換(I)

印刷オプション

印刷枚数(B): 1

既定値に戻す(D)

設定(S) キャンセル

キー割り当て番号を設定後、残りの 2 つのコマンドをプリンターに送信する必要があります。

(3) P-touch テンプレートモードの初期化

デフォルト設定に戻す為、一度初期化します

^H 初期化

ASCII:	^	I	I
10 進:	94	73	73
16 進:	5E	49	49

パラメーター
なし

入力コマンド

^H

(4) 印刷開始

^FF 印刷開始

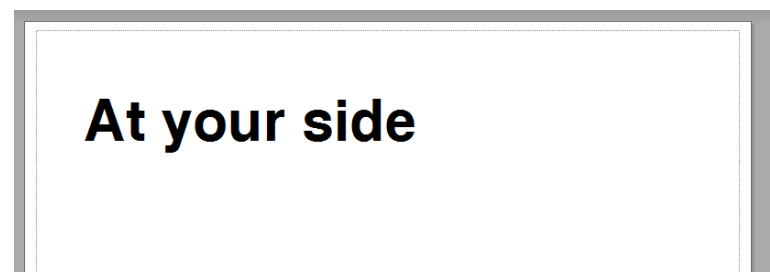
ASCII:	^	F	F
10 進:	94	70	70
16 進:	5E	46	46

パラメーター
なし

入力コマンド

^FF

プリンターが上記のコマンドを受信すると、以下のラベルが印刷されます



3.2 P-touch Template 2.0 ロゴ/外字(ビットマップ) 使用例

下記のような文書を作成します。

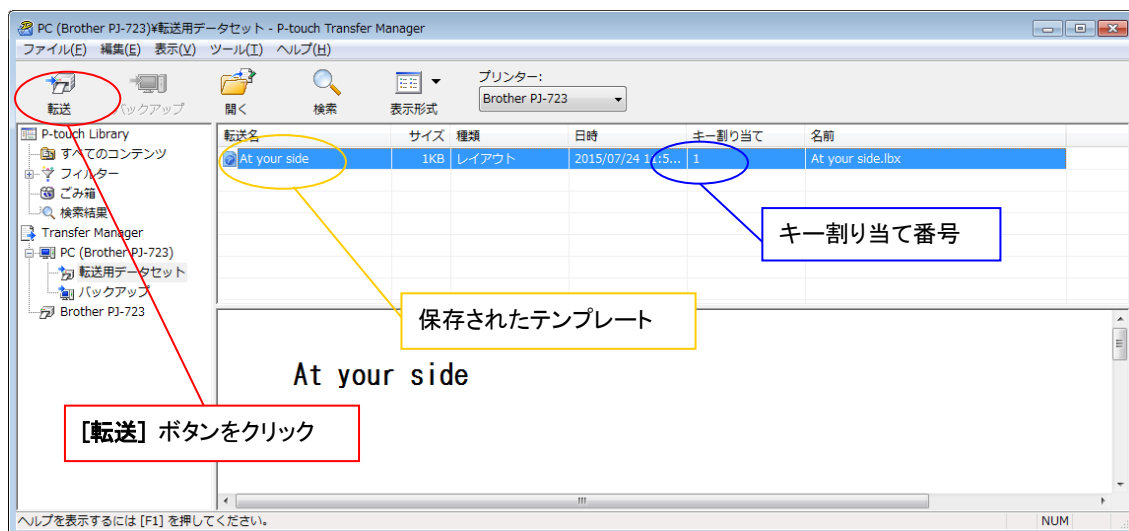


ステップ

1. テンプレートを作成し、プリンターへ転送する
2. 印刷したいロゴ/外字をビットマップ形式で作成し、プリンターに転送する
3. P-touch テンプレートコマンドを使用し、印刷する

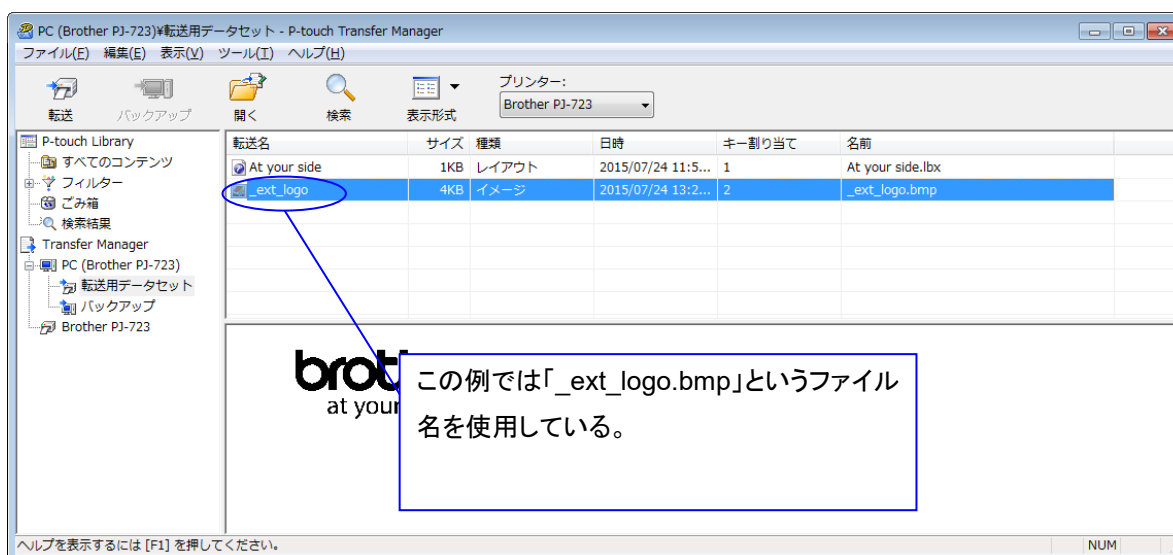
ステップ 1: テンプレートを作成し、プリンターへ転送する

テキストオブジェクトを1つ含む任意のテンプレートを作成し、転送します。

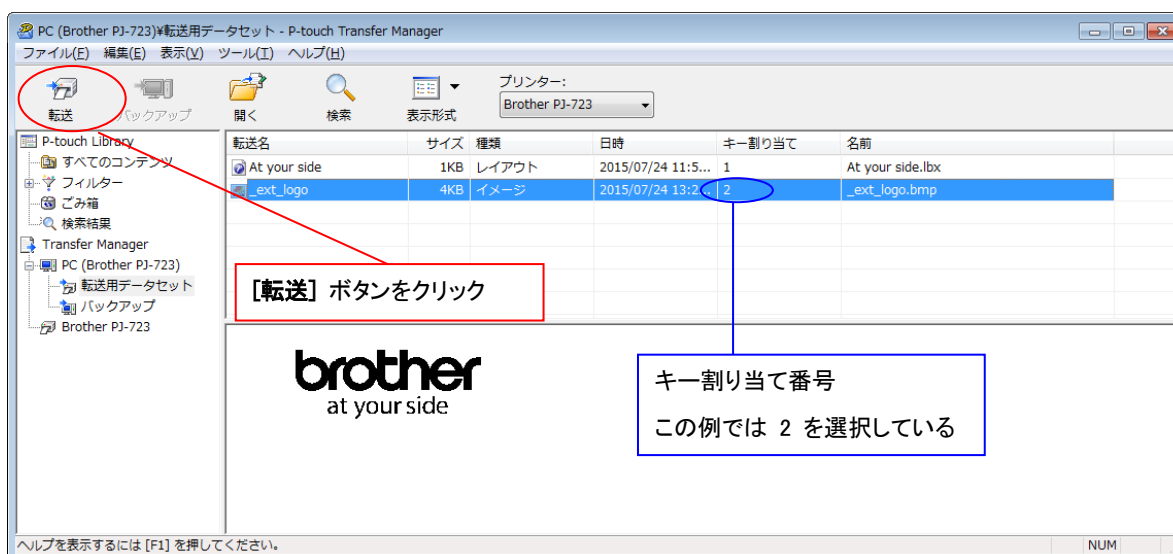


ステップ 2: 印刷したいロゴ/外字をビットマップ形式で作成し、プリンターに転送する

印刷したいビットマップファイルを P-touch Transfer Manager にドラッグ & ドロップすることでリストに追加します。ファイル名の先頭には“_ext_”をつけてください。



[転送] ボタンをクリックし、プリンターに転送します。



ステップ 3: P-touch テンプレートコマンドを使用し、印刷する

(1) P-touch テンプレートモードの初期化

^H 初期化

ASCII:	^	H	H
10 進:	94	73	73
16 進:	5E	49	49

パラメーター
なし

入力コマンド

^H

(2) 印刷したいビットマップファイルの選択

ビットマップファイルのキー割り当て番号を選択するためには、特定の文字「¥」が必要です。

また、ビットマップファイルのキー割り当て番号を指定する際、ステップ 2 で表示された数字から 1 を引く必要があります。

ステップ 2 ではビットマップファイルのキー割り当て番号が「2」なので、入力コマンドは「¥01」となります。

入力コマンド

¥01

(3) 印刷開始

^FF 印刷開始

ASCII:	^	F	F
10 進:	94	70	70
16 進:	5E	46	46

パラメーター

なし

入力コマンド

^FF

上記のコマンドをプリンターに送信することで、以下の文書が印刷されます。



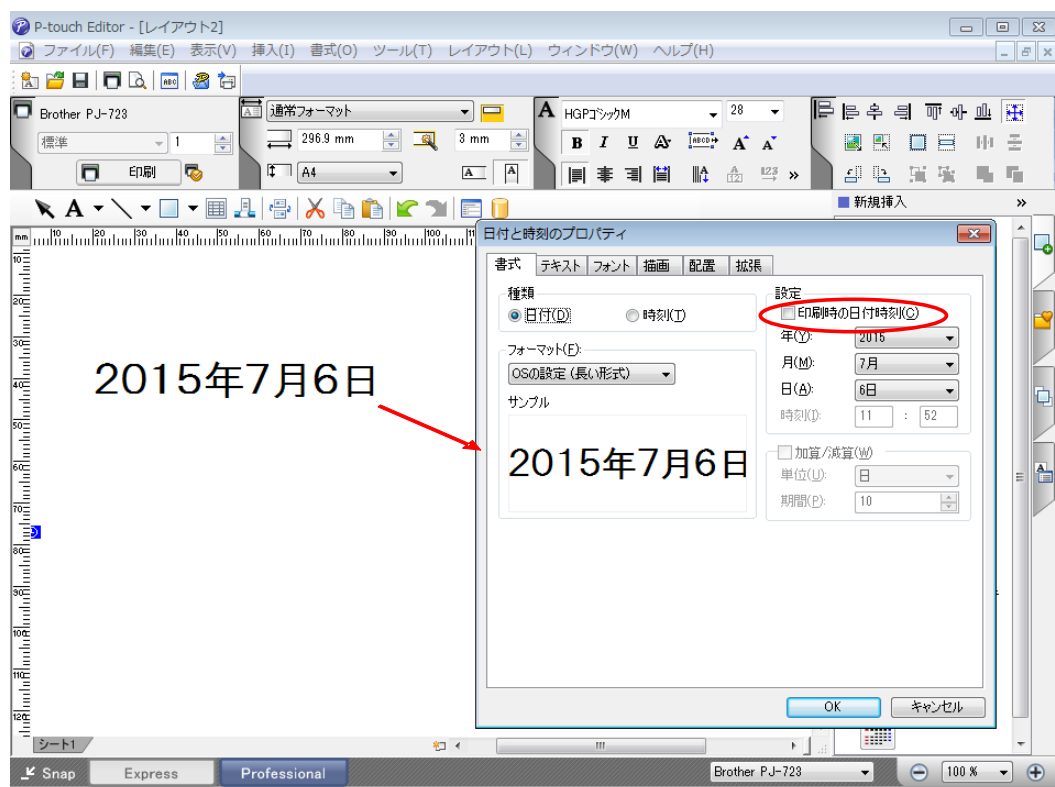
4. P-touch Template 2.0 制限事項

4.1 テキストオブジェクトに関して

4.1.1 フォント、サイズ等

「[5.3 P-touch Editorの設定と本体イメージの相関表](#)」も併せてご参照ください。

- P-touch Editor で設定したフォントは、プリンター本体転送時、プリンター本体内部蔵の近いフォントに変換されます。
- P-touch Editor で設定した文字サイズは、プリンター本体転送時、プリンター本体内部蔵の近いサイズに変換されます。
- P-touch Editor で設定した文字サイズは、オブジェクト内で全て同じサイズになります。
- テキストオブジェクトで使用される文字コードセットは、転送に使用する PC の言語環境に依存します。
- 「¥」は外字番号指定用の制御文字として使用されます。「¥¥」と入力することで文字としての「¥」が使用できます。
- 日本の文字データ入力は、文字コードセットの設定で変わります。Unicode(UTF-8)設定時は UTF-8、それ以外を設定時は ShiftJIS に対応しています。
- P-touch Editor で設定したタイムスタンプは、「印刷時の日付時刻」設定が無の場合は、P-touch Editor で作成時の日時で印刷されます。「印刷時の日付時刻」設定が有の場合、空白印刷されます。



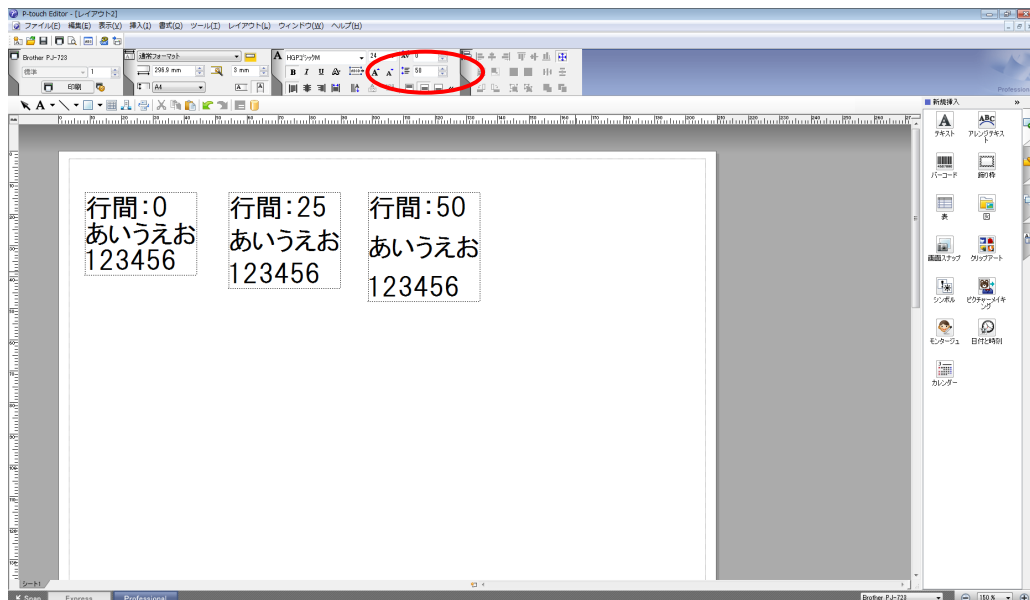
「印刷時の日付時刻」の設定箇所

P-touch Editor で、「日付と時刻のプロパティ」の「印刷時の日付時刻」の設定を解除するには、日付と時刻オブジェクトのプロパティを開き、「印刷時の日付時刻」チェックボックスを OFF にします。

4.1.2 文字の配置について

- P-touch Editor で設定した水平配置(「均等揃え」、「両端揃え」)設定は、左寄せに変換されます。
- P-touch Editor で設定した改行時の行間設定有効範囲は、0～255ドットです。

P-touch Editor の行間設定には、マイナスの値を使用しないでください。また、プリンター本体の行幅に上限があるため、P-touch Editor でそれより大きな行間設定を行ってもプリンター本体には反映されません。



P-touch Editor での行間設定方法

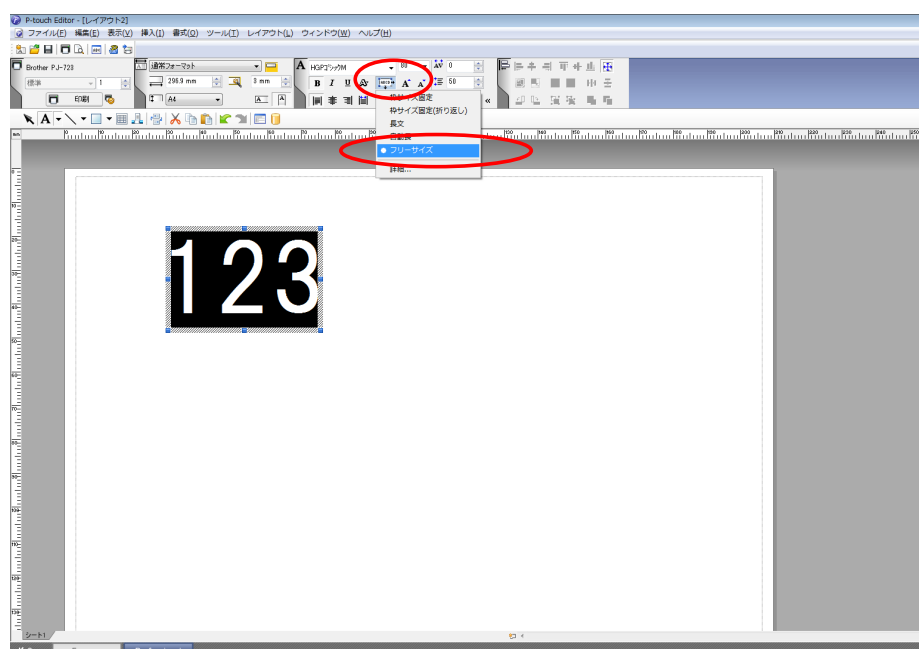
4.1.3 文字の装飾、レイアウト

- P-touch Editor で設定した文字装飾は、オブジェクト内で全て同じ装飾になります。
- P-touch Editor で設定したテキストオプションが「長文」の時、常に左上寄せの位置に配置されます。
- P-touch Editor で設定したテキストオプションが「長文」で、かつ長尺テープを使用した場合、テキストに合わせて印刷長がのびます。
- P-touch Editor で設定したテキストオプションの「テキストを折り返す」は、オブジェクトサイズが固定で文字は縮小されます。

「テキストを折り返す」はもともと長い文章を挿入するために追加されたモードであり、「テキストを折り返す」機能をなくしてしまうと極端に文字サイズが小さくなる可能性があります。

そのため P-touch Editor では、用紙が固定サイズまたは定長が設定されている場合は「枠サイズ固定」、用紙にオート長が設定されているときは「自動長」を推奨します。

縮小して全体を表示	テキストオブジェクトサイズが固定になります。 テキストサイズがテキスト長さにより変更されます。
はみ出した部分はクリップする	テキストオブジェクトサイズ及びテキストサイズが固定になります。 テキストが長い場合は、印刷されません。
長文	テキストオブジェクト幅とテキストサイズは固定です。 テキストが長い場合には、自動的に改行し垂直方向にのびます。
自動長	テキストオブジェクト高さやテキストサイズは、固定です。 テキストが長い場合は、テキストオブジェクトの幅がのびます。
フリーサイズ	テキストサイズが固定です。テキストが長い場合は、テキストオブジェクトの幅がのびます。改行されたら垂直方向にのびます。



テキストオプション(文字の制御)の設定方法

赤丸で囲んだコントロールをクリックすると、選択肢がドロップダウンで表示され、その中から選択します。

- テキストデータの前後に装飾タグを入れて流し込むことで、特定のテキストのみを装飾することができます。

装飾タグの対応は、以下のとおりです。

装飾種	装飾タグ(※)	
	開始タグ	終了タグ
太字		
下線	<u>	</u>

※装飾タグ文字列がデフォルトの場合の設定です。

使用例) テキストオブジェクトに、テキスト"AAABBB<u>CCC</u>"を流し込んだ場合。

印刷結果: AAABBBCCC

- 装飾タグを使用する場合、開始タグ・終了タグの両方を必ず入れてください。
- 装飾タグを使用する場合、1 行ごとに装飾タグを入れてください。装飾タグの途中で改行された場合、改行後のテキストは装飾されません。
- 装飾タグは、テキストオブジェクトでのみ使用可能です。
- ナンバリング範囲内の装飾タグは無効です。

4.2 バーコードに関して

4.2.1 バーコード（全体）

- プリンター本体の対応していないバーコードを含むテンプレートを転送しようとすると、転送時にエラーになりプリンター本体に転送できません。プリンター本体が対応しているバーコードは、以下のとおりです。

1 次元バーコード	CODE39, ITF (I-2/5), UPC-A, UPC-E, EAN-13, EAN-8, CODABAR, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN-128), GS1 Databar(RSS), POSTNET, Intelligent Mail Barcode
2 次元バーコード	PDF417, QR Code, Data Matrix, MaxiCode, Aztec, GS1 Databar Composite

- バーコードオブジェクトにデータを流し込んだとき、規格外の文字があった場合は、そのバーコードオブジェクトは印刷されません。
- バーコードの大きさは、P-touch Editor からの印刷結果とは異なる場合があります。
- CODE128／GS1-128(UCC/EAN-128)は、大きめに印刷されやすいので、P-touch Editor でテンプレートを作成時に、余白を多めに入れることを推奨します。
- P-touch Editor で作成時のテンプレートより、データの流し込みで印刷領域に収まらないサイズのバーコードが出来た場合、バーコードは印刷されません。ただし、無定長ラベルのテンプレートでは、印刷方向に印刷領域を超えるサイズの場合、バーコードが印刷されます。
- バーコードデータの直前、直後に改行を入れないでください。バーコードデータの一部とみなされ、改行コードも含んだバーコードが作成される、またはバーコード規格外のデータが入力されたとして、バーコード部分の印刷が空白になります。
- バーコードデータの直後は、区切り記号、もしくは印刷開始文字列を入れてください。

4.2.2 1 次元バーコードについて

- 横幅が、22.5cm を超えるバーコードは、印刷されません。
- 1164 ドット以上の高さの 1 次元バーコードを作成しても 1164 ドットに変換されます。
- 規格ごとの入力文字数は以下のとおりです。

CODE39	1～50 文字(両サイドの * は含まれない) データ流し込み時、データの先頭と最終の * は読み飛ばします。
ITF (I-2/5)	1～64 文字 P-touch Editor で設定したベアラバー設定は無効です。
EAN-8	7 文字
EAN-13	12 文字
UPC-A	11 文字
UPC-E	6 文字
CODABAR	3～64 文字(先頭と終了は A、B、C、D のいずれか)
CODE128	1～64 文字
GS1-128 (UCC/EAN-128)	1～64 文字
GS1 Databar (RSS-14)	3～15 文字(先頭は"01")
GS1 Databar (RSS Limited)	3～15 文字(先頭は"01" 3 桁目は"0" または"1")
GS1 Databar (RSS Expanded)	数字 1～64 桁、英数字(*) 1～40 文字
POSTNET	5 文字, 9 文字, 11 文字
Intelligent Mail Barcode	20 文字、25 文字、29 文字、31 文字(2 桁目は"0"～"4")

※ISO646 で規定された印字可能文字

<< 数字、英文字、スペース、!、"、%、&、'、(、)、*、+、,、-、.、/、:、;、<、=、>、?、_ >>

上記の範囲を超えて転送しようとする、転送時にエラーになります。データの流し込みは、下限値に満たない場合は、印刷されません。上限値を超えた場合は、上限値までのデータを有効とします。

4.2.3 2次元バーコードについて

- P-touch Editor で設定した余白設定は無効です。余白設定は、バーコード余白有無設定コマンド(ESC iXE2)でのみ設定できます。
- その他の制限事項は以下のとおりです。

QR Code	P-touch Editor で設定した QR コードのバージョン設定は無効です。バージョン設定は、OFF にしてください。 P-touch Editor で設定した連結設定は無効です。 QR コードバージョン設定コマンドにより設定された値が範囲外の時、AUTO に変換されます。(MODEL1:0~14、MODEL2:0~40、マイクロ QR:0~4)
PDF417	P-touch Editor で設定した PDF417 のエラー訂正レベルは、本体と一致しないため、P-touch Template での印刷時に、バーコードの大きさが変わることがあります。 P-touch Editor で設定した PDF417 の幅で、中は小に変換されます。 P-touch Editor で設定した連結設定は無効です。
Data Matrix	P-touch Editor で設定した連結設定は無効です。 P-touch Editor で設定したマクロ設定は無効です。
MaxiCode	P-touch Editor で設定した連結設定は無効です。 データがオーバーした時、連結します。 P-touch Editor で国コードとサービスクラスを設定すると、指定文字に達しない時は前詰めになりますが、本体は後ろ詰めになります。 (例) 2 を設定→P-touch Editor:「200」 本体:「002」
Aztec	P-touch Editor で設定した除去する文字は無効です。 P-touch Editor で設定した連結の設定のうち、連結間隔と縦連結は無効です。 データを流し込む場合、メッセージ ID とデータの間には「00」を入れてください。メッセージ ID を含まない場合、データ先頭に「00」を付けてください。
GS1 Databar Composite	以下のモデルに対応しています。 - GS1 Databar Omni CC-A/CC-B - GS1 Databar Truncated CC-A/CC-B - GS1 Databar Stacked CC-A/CC-B - GS1 Databar StackedOmni CC-A/CC-B - GS1 Databar Limited CC-A/CC-B - GS1 Databar Expanded CC-A/CC-B - GS1 Databar Expanded Stacked CC-A/CC-B P-touch Editor で設定した下部文字設定は無効です。 データを流し込む場合、P-touch Editor で設定した「データの先頭に 01 をつける」設定は無効です。データ先頭に「01」を付けてください。 また、1 次元データと 2 次元データは「 」で区切ってください。 (例) 1 次元データ「12345」と 2 次元データ「67890」を流し込む場合 流し込みデータ:「0112345 67890」

4.3 イメージに関して

- P-touch Editor で、イメージが重なり合ったテンプレートを転送した場合、全てのイメージデータは重ねあわされます。(P-touch Editor はデフォルトでは後で作ったものが上に表示されます。)

4.4 ナンバリングに関して

- 1つのオブジェクト内で、有効なナンバリング指定範囲数は1つです。
- ナンバリング最大桁数は15桁です。
- 印刷後のナンバリングオブジェクトの内容は、ナンバリング指定範囲のみ保存されます。
- ナンバリングオブジェクトの文字数より流し込んだ文字数が少ない場合、正常に印刷されない場合があります。
- ナンバリング指定範囲内に改行がある場合は、改行以降の文字列はオブジェクトから削除されます。

注意:

ナンバリングオブジェクトとはナンバリング指定されたテキストオブジェクトまたはバーコードオブジェクトを意味します。

4.5 その他

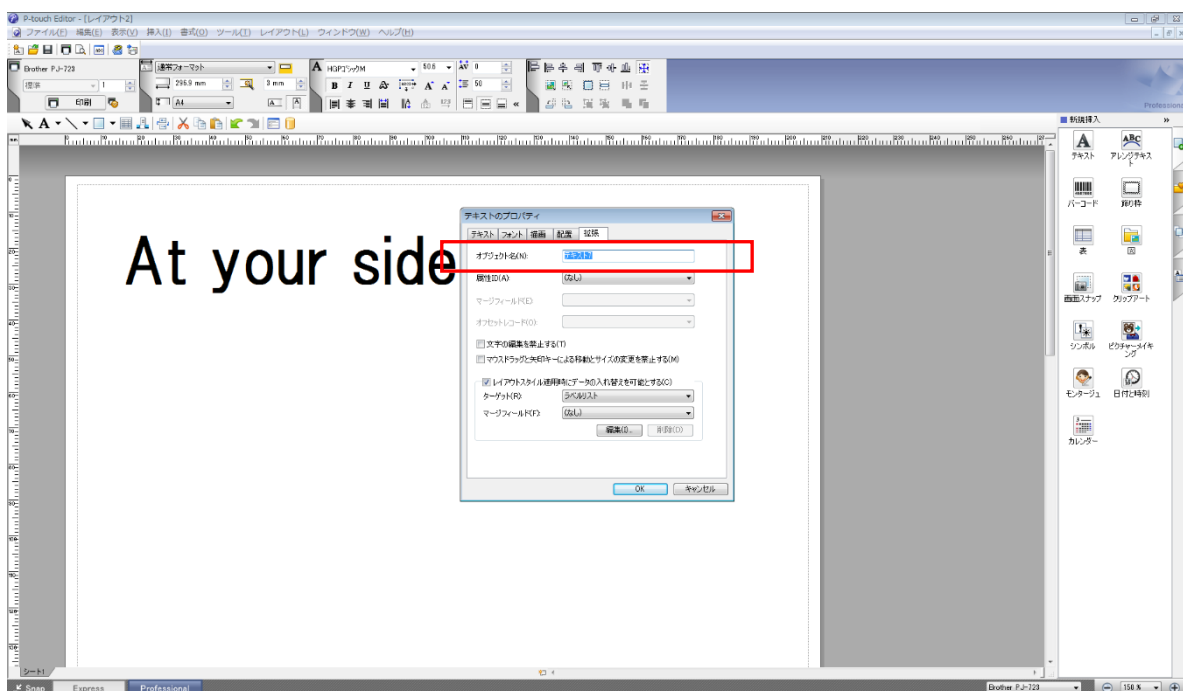
4.5.1 テンプレートの転送について

- 最大転送テンプレート数は 255 個です。ただし転送容量が ユーザー領域サイズ* を超えた時点で転送できなくなります。(*[付録 A: 仕様](#) 参照)
- 1 テンプレートの最大オブジェクト数は 255 個です。
- 印刷データを流し込む場合は、コマンドモードを、P-touch Template モードにしてください。
- 本体にテンプレートを転送すると、動的コマンドで設定した値は、全て初期化されます。
- スプリットラベルには、対応していません。
- P-touch Editor から印刷した後、コマンドモードは ESC/P Legacy / Raster モードに戻ります。テンプレート印刷を行うには、本体設定ツールで P-touch Template モードにするか、直前のモードが、本体設定ツールで P-touch Template モードにしていたならば、電源 OFF/ON すれば、P-touch Template モードに戻ります。

4.5.2 テンプレート内のオブジェクト

- 印刷データの改行コード(0D0A、0D、0A)は読み捨てます。ただし、区切り記号や印刷開始文字列、改行コマンドなど、特別なデータ列として設定された場合はそれらに従います。
- オブジェクトの順番は、オブジェクト名の下位から 4 ケタ分の数字のみ有効として、順番が決定されます。数字がない場合は、1 番最後の順番になります。同じ番号の場合は、テキスト、1 次元バーコード、2 次元バーコードの優先順位で番号を決定し、オブジェクトも同じ場合は、その中で最初に作ったものを先の順番にします。順番を示す数字をオブジェクト名の後ろに入れることを推奨します。

(P-touch Editor でオブジェクト名を設定するには、テキストおよびバーコード各オブジェクトのプロパティを表示し、「拡張タブ」の「オブジェクト名」欄に名前を設定してください。)



オブジェクト名の設定箇所

5. 注意事項

5.1 静的コマンド使用時のご注意

静的コマンドは、共通コマンドとラスターモードのみで有効であるコマンドの 2 種類が存在します。

例えば、ラスターモードのみで有効なコマンドを使用する場合は、下記のようにモードを変更してから、コマンドを送信してください。

- (1) ラスターモードに切り替えます。

ESC i a 00h (1Bh 69h 61h 00h)

- (2) 全角スペース幅調整を有効に設定します。

ESC i O U D 1 01h (1Bh 69h 4Fh 55h 44h 31h 01h)

- (3) 動的に、P-touch Template モードに変更します。

ESC i a 03h (1Bh 69h 61h 03h)

※ラスターモードのみで有効なコマンドの種類については、「[6.3 各種設定コマンド（ラスターモード専用）](#)」を参照してください。

5.2 Bluetooth使用時(オプション)のご注意

Bluetooth で接続する場合、ポートをオープンした直後は、プリンターの準備が整っていないことがあります。印刷データを送る場合、ポートオープン後に 500 ms 以上待ってから、データを送り始めてください。

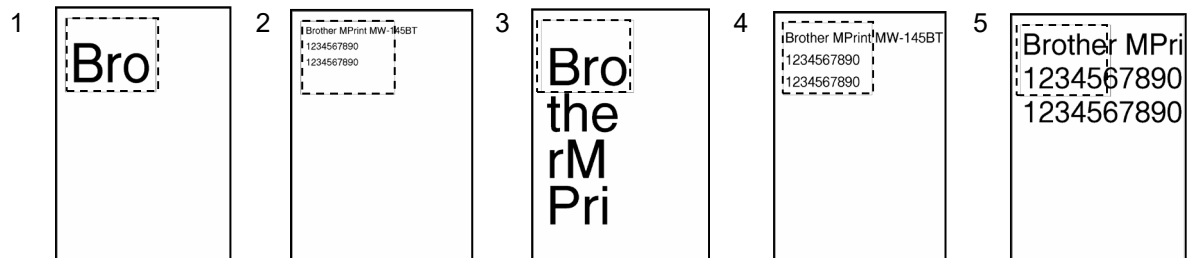
また、複数ページの印刷をする場合などで、ポートのクローズとオープンが連続して行われる場合には、ポートをクローズした後に 500 ms 以上待って次のポートオープンを行ってください。

1 ページ分の印刷データを送信後、印刷が完了するまで Bluetooth ポートは閉じないでください。

5.3 P-touch Editor の設定と本体イメージの相関表

P-touch Editor の設定 テキストオプション(文字の制御)			本体イメージ				印刷 イメージ
			横		縦		
制御モード	詳細 文字の制御	テキストを 折り返す	オブジェクトサイズ	文字サイズ	オブジェクトサイズ	文字サイズ	
枠サイズ 固定	はみ出した部分は クリップする		「固定」 オブジェクトサイズ の横からはみ出た 文字は印刷しない	「固定」	「固定」 オブジェクトサイズの 縦からはみ出た文字 は印刷しない	「固定」	1 (下記参照)
	縮小して全体を表示する		「固定」 最小サイズの場合 横方向はみ出る	「オート」 オブジェクトサ イズに合わせて 文字サイズを 最大サイズに 調整する	「固定」 最小サイズの場合 縦方向はみ出る	「オート」 オブジェクトサ イズに合わせて 文字サイズを最 大サイズに調 整する	2 (下記参照)
	はみ出した部 分はクリップ する	チェック					
	縮小して全体 を表示する	チェック					
枠サイズ 固定 (折り返し)	—						
長文	—		「固定」 オブジェクトサイズ の横からはみ出た 文字は自動改行 する	「固定」	オブジェクトサイズの 縦からはみ出た文字 も印刷する	「固定」	3 (下記参照)
自動長	—		オブジェクトサイズ の横からはみ出た 文字も印刷する	「固定」	「固定」 最小サイズの場合縦 方向はみ出る	「オート」 オブジェクトサ イズに合わせて 文字サイズを最 大サイズに調 整する	4 (下記参照)
フリー サイズ	—		オブジェクトサイズ の横からはみ出た 文字も印刷する	「固定」	オブジェクトサイズの 縦からはみ出た文字 も印刷する	「固定」	5 (下記参照)

印刷イメージ



5.4 印刷までの時間を速くするテンプレートの作成方法

- 変更しないオブジェクトは下記の手順でイメージにしてください。
 - [Textのプロパティ]－[拡張]の「**文字の編集を禁止する**」をチェックするとオブジェクトがイメージになります。
 - [Textのプロパティ]－[拡張]がない場合は、[ツール]－[オプション]－[全般]－[その他]の「**オブジェクトのプロパティで拡張ページを表示**」をチェックしてください。
- 文字サイズが固定になるように、テキストオプション(文字の制御)を設定してください。

6. コマンド対応一覧

6.1 P-touchTemplate コマンド

コマンド	名称	備考
^II	初期化	
^TS	テンプレート選択設定	
^FF	印刷開始	
^CN	コピー印刷枚数設定	
^NN	ナンバリング印刷枚数設定	
^ID	テンプレートデータ初期化	
^PT	印刷開始トリガー選択	
^PS	印刷開始コマンド文字列設定	
^PC	印刷開始受信文字数設定	
^SS	区切り記号指定	
^LS	改行時の行間設定	
^CC	プレフィックス文字の変更	
^RC	改行コマンド文字列設定	
^QV	QR コードバージョン設定	
^FC	FNC1 置換設定	
^OP	本体動作実行 (フィード)	
^SR	ステータスリクエスト	
^VR	バージョン情報取得	
^CR	オブジェクト内での改行	
^OS	オブジェクト選択設定 (オブジェクト番号)	
^ON	オブジェクト選択設定 (オブジェクト名)	
^DI	オブジェクト直接挿入	

注意:

*上記コマンドは、P-touch Template モードにて、使用してください。

* ESC/P Legacy / Raster モードおよび、ESC/P Brother モードでは使用できません。

6.2 各種設定コマンド（モード共通）

コマンド	名称	備考
ESC iXT	印刷開始トリガー設定	
ESC iXP	印刷開始コマンド文字列設定	
ESC iXr	印刷開始受信文字設定	
ESC iXD	区切り記号設定	
ESC iXa	読み捨て文字列設定	
ESC iXi	コマンドモード設定	
ESC iXn	テンプレート選択設定	
ESC iXf	プレフィックス文字変更	
ESC iXm	文字コードセット選択	
ESC iXj	国際文字設定	
ESC iXR	改行コマンド文字列設定	
ESC iXC	コピー印刷枚数設定	
ESC iXN	ナンバリング印刷枚数設定	
ESC iXF	FNC1 置換設定	
ESC iXE	バーコード余白有無設定	
ESC iXh	印刷方向設定	
ESC iX^	印刷停止位置指定	
ESC iXv (08h)	Network Raw ポート通信設定	

6.3 各種設定コマンド

コマンド	名称	備考
ESC iOUD	全角スペース幅調整有無設定	
ESC iOUe	装飾タグ文字列設定	

6.4 プリンター制御コマンド

コマンド	名称	備考
ESC ia	コマンドモード設定	
ESC iUx	再起動	

7. P-touch Template コマンド詳細

^H 初期化

ASCII:	^		
16 進:	5E	49	49

パラメーター

なし

説明

- 動的設定値を全て本体設定値に戻します。
 - (1) 印刷開始トリガーの選択項目
 - (2) 印刷開始コマンドの文字列
 - (3) 印刷開始受信文字数
 - (4) 区切り記号
 - (5) テンプレート選択番号
 - (6) プレフィックス文字
 - (7) 改行コマンド文字列設定
 - (8) コピー印刷枚数設定
 - (9) ナンバリング印刷枚数設定
 - (10) QR コードバージョン設定
 - (11) FNC1 置換設定

^TS テンプレート選択設定

ASCII:	^	T	S	n1	n2	n3
16進:	5E	54	53	n1	n2	n3

パラメーター $0 \leq n1 \leq 2$ $0 \leq n2 \leq 9$ $0 \leq n3 \leq 9$ **説明**

- 本体で選択しているテンプレートを指定番号にします。
($n1 \times 100 + n2 \times 10 + n3$: テンプレート番号(1~255))
- 本体選択番号のデフォルト値は、1 です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 設定可能なテンプレート番号は、1~255 です。
それ以外の数値を設定しようとした場合または本体に転送されていない番号を指定した場合は無効になります。

コマンド例

- 選択テンプレート番号を 99 にする場合。
 $n1=0$ 、 $n2=9$ 、 $n3=9$ になるため、コマンドは以下ようになります。

^ T S 0 9 9
(5Eh 54h 53h 30h 39h 39h)

^FF 印刷開始

ASCII:	^	F	F
16 進:	5E	46	46

パラメーター

なし

説明

- 印刷を開始します。
- 但し、印刷開始トリガーが“設定されている文字列受信時”である場合に使用できます。
([^PT](#)、[ESC iXT2](#) 参照)
- 印刷開始コマンド文字列は変更することが可能です。
([^PS](#)、[ESC iXP2](#) 参照)

コマンド例

- テンプレート番号 3 を印刷する場合。

^ T S 0 0 3 ^ F F (5Eh 54h 53h 30h 30h 33h 5Eh 46h 46h)
--

^CN コピー印刷枚数設定

ASCII:	^	C	N	n1	n2	n3
16 進:	5E	43	4E	n1	n2	n3

パラメーター $0 \leq n1 \leq 9$ $0 \leq n2 \leq 9$ $0 \leq n3 \leq 9$ **説明**

- コピー印刷枚数を設定します。
($n1 \times 100 + (n2 \times 10) + n3$: コピー印刷枚数(バイト)(1~999))
- コピー印刷枚数のデフォルト値は 1 です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 印刷が終了すると、このコマンドで設定した枚数は、本体に設定されている枚数(静的値)に戻ります。

コマンド例

- コピー印刷枚数を 100 枚に変更する場合。
n1=1、n2=0、n3=0 になるため、コマンドは以下のようになります。

^ C N 1 0 0
(5Eh 43h 4Eh 31h 30h 30h)

^NN ナンバリング印刷枚数設定

ASCII:	^	N	N	n1	n2	n3
16 進:	5E	4E	4E	n1	n2	n3

パラメーター

0 ≤ n1 ≤ 9

0 ≤ n2 ≤ 9

0 ≤ n3 ≤ 9

説明

- ナンバリング印刷枚数を設定します。
(n1*100)+(n2*10)+n3: ナンバリング印刷枚数(バイト)(1~999)
- ナンバリング印刷枚数のデフォルト値は 1 です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 印刷が終了すると、このコマンドで設定した枚数は、本体に設定されている枚数(静的値)に戻ります。

コマンド例

- ナンバリング印刷枚数を 100 枚に変更する場合。
n1=1、n2=0、n3=0 になるため、コマンドは以下のようになります。

^ N N 1 0 0
(5Eh 4Eh 4Eh 31h 30h 30h)

^ID テンプレートナンバリングデータ初期化

ASCII:	^	I	D
16 進:	5E	49	44

パラメーター

なし

説明

- 選択しているテンプレートのナンバリング情報をテンプレート転送時の状態に戻します。

^PT 印刷開始トリガー選択

ASCII:	^	P	T	n
16 進:	5E	50	54	n

パラメーター $1 \leq n \leq 3$ **説明**

- 印刷開始トリガーの種類を選択します。
n=1: 設定されている文字列受信時(デフォルト)
n=2: 全てのオブジェクトが埋まったとき
(最後のデータ後の区切り記号で印刷)
n=3: 設定されている文字数受信時
(区切り記号は、含まれない)
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- n が 1～3 以外の値の場合は無効になります。

コマンド例

- 印刷開始トリガーを“全てのオブジェクトが埋まったとき”にする場合。

^ P T 2
(5Eh 50h 54h 32h)

^PS 印刷開始コマンド文字列設定

ASCII:	^	P	S	n1	n2	data
16 進:	5E	50	53	n1	n2	data

パラメーター $0 \leq n1 \leq 2$ $0 \leq n2 \leq 9$ $00h \leq data \leq FFh$ 説明

- 印刷開始コマンドの文字列を設定します。
($n1 \times 10 + n2$: 文字列の長さ(1~20 まで設定可能))
data: 文字列(設定可能最大文字数は 20 文字(バイト))
- 印刷開始コマンドのデフォルト文字列は“^FF”です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効です。

コマンド例

- 印刷開始コマンド文字列を“START”に変えたい場合。
設定する文字列(data)は“START”と、5 文字であるため、 $n1=0$ 、 $n2=5$ です。コマンドは以下ようになります。

^ P S 0 5 S T A R T
(5Eh 50h 53h 30h 35h 53h 54h 41h 52h 54h)

^PC 印刷開始受信文字数設定

ASCII:	^	P	C	n1	n2	n3
16 進:	5E	50	43	n1	n2	n3

パラメーター $0 \leq n1 \leq 9$ $0 \leq n2 \leq 9$ $0 \leq n3 \leq 9$ **説明**

- 印刷開始受信文字数を設定します。
($n1 \times 100 + (n2 \times 10) + n3$: 印刷開始受信文字数(1~999 文字))
- 印刷開始受信文字数のデフォルト値は 10 です。
- このコマンドは、動的コマンドです。
- 全角は 2 バイトで 1 文字、半角は 1 バイトで 1 文字として扱われます。
- Unicode(UTF-8)設定時は、1~4 バイトで 1 文字として扱われます。

コマンド例

- 印刷受信文字数を 100 文字に変更する場合。
n1=1、n2=0、n3=0 になるため、コマンドは以下のようになります。

^ P C 1 0 0
(5Eh 50h 43h 31h 30h 30h)

^SS 区切り記号指定

ASCII:	^	S	S	n1	n2	data
16 進:	5E	53	53	n1	n2	data

パラメーター $0 \leq n1 \leq 2$ $0 \leq n2 \leq 9$ $00h \leq \text{data} \leq FFh$ **説明**

- 区切り記号とは、データの流し込みを、次のオブジェクトに移行したいときに使う記号です。
- 区切り記号の文字列を設定します。
 $(n1 \times 10) + n2$: 文字列の長さ(1~20)
data: 文字列(設定可能最大文字数は 20 文字(バイト))
- 区切り記号のデフォルト文字列は“09h(TAB コード)”です。
印刷データ内にでてくることがない文字列を設定してください。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効です。

コマンド例

- 区切り記号を“, ”(2Ch)に変えたい場合。
文字列の長さは 1 文字であるため、 $n1=0$ 、 $n2=1$ となり、文字列(data)は“, ”(2Ch)で、コマンドは以下のようになります。

^ S S 0 1 ,
(5Eh 53h 53h 30h 31h 2Ch)

^LS 改行時の行間設定

ASCII:	^	L	S	n1	n2	n3
16 進:	5E	4C	53	n1	n2	n3

パラメーター $0 \leq n1 \leq 2$ $0 \leq n2 \leq 9$ $0 \leq n3 \leq 9$ **説明**

- 改行時の行間のドット数を設定します。
($n1 \times 100$) + ($n2 \times 10$) + $n3$: 行間ドット数(0～255)
- 改行時の行間ドット数のデフォルト値は、P-touch Editor でテンプレートを作成したときに決められるドット数です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 行間のドット数は、0～255ドットです。それ以外の数値を設定しようとした場合は無効になります。

コマンド例

- 行間を 10 ドットにする場合。

^ L S 0 1 0
(5Eh 4Ch 53h 30h 31h 30h)

^CC プレフィックス文字の変更

ASCII:	^	C	C	n
16 進:	5E	43	43	n

パラメーター

00h ≤ n ≤ FFh

説明

- プレフィックス文字コードを変更します。
n: 文字コード
- プレフィックス文字のデフォルト文字列は“^”です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

コマンド例

- プレフィックス文字を、“^”から“_”に変更したい場合は、下記のようにコマンドを送ります。

^ C C 5Fh (5Eh 43h 43h 5Fh) (“5Fh” は ASCII コードで “_” を表します。)
--

- ただしこれ以降、電源を ON/OFF しないとプレフィックス文字は“_”に変更されたままのため、たとえば初期化コマンドを使用するときは、^II ではなく、_II になります。

^RC 改行コマンド文字列設定

ASCII:	^	R	C	n1	n2	data
16 進:	5E	52	43	n1	n2	data

パラメーター $0 \leq n1 \leq 2$ $0 \leq n2 \leq 9$ $00h \leq data \leq FFh$ **説明**

- 改行コマンドの文字列を設定します。
($n1 \times 10 + n2$: 文字列の長さ(1~20 まで設定可能))
data: 文字列(設定可能最大文字数は 20 文字(バイト))
- 改行コマンドのデフォルト文字列は“^CR”です。
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効です。

コマンド例

- 改行コマンド文字列を“0Dh 0Ah”に変えたい場合。
設定する文字列(data)は、2 文字であるため、 $n1=0$ 、 $n2=2$ です。コマンドは以下のようになります。

^ R C 0 2 0Dh 0Ah
(5Eh 52h 43h 30h 32h 0Dh 0Ah)

^QV QRコードバージョン設定

ASCII:	^	Q	V	n1	n2
16 進:	5E	51	56	n1	n2

パラメーター $0 \leq n1 \leq 4$ $0 \leq n2 \leq 9$ **説明**

- QRコードバージョンを設定します。
($n1 \times 10 + n2$): バージョン値 (0~40)
- QRコードバージョンのデフォルト値は 0 です。
- 設定可能値 (0~40)以外を設定しようとした時は、コマンドが無効になります。
- このコマンドは、動的コマンドです。

コマンド例

- バージョンを 10 に変更する場合。
n1=1、n2=0 になるため、コマンドは以下のようになります。

^ Q V 1 0
(5Eh 51h 56h 31h 30h)

^FC FNC1 置換設定

ASCII:	^	F	C	n
16 進:	5E	46	43	n

パラメーター $0 \leq n \leq 1$ **説明**

- バーコード規格 GS1-128(UCC/EAN128)などに含まれる GS コードを、FNC1 コードに置き換える機能の ON/OFF を設定します。
n: FNC1 置換設定
(ON:1 OFF:0(デフォルト))
- このコマンドは、動的コマンドです。

備考

- n が 0、1 以外の値の場合は無効になります。

コマンド例

- FNC1 置換を無効にしたい場合。

FNC1 置換を無効にするため、n=0 になります。コマンドは以下のようになります。

^ F C 0
(5Eh 46h 43h 30h)

^OP 本体動作実行（フィード）

ASCII:	^	O	P	n
16 進:	5E	4F	50	n

パラメーター

n: 0 (固定)

説明

- 本体のフィード動作を実行させます。

コマンド例

- 本体をフィード動作させたいとき、コマンドは以下のようになります。

^ O P 0
(5Eh 4Fh 50h 30h)

^SR ステータスリクエスト

ASCII:	^	S	R
16 進:	5E	53	52

パラメーター

なし

説明

- プリンターステータスを要求します。
- プリンターステータスは 32 バイトで構成されます。
- プリンターは印刷動作中に応答を返しません。

オフセット	名称	値／参照
0	ヘッドマーク	80h 固定
1	サイズ	20h 固定
2	「ブラザー」コード	“B” (42h) 固定
3	シリーズコード	“6” (36h) 固定
4	機種コード	PJ-823: “C” (43h) PJ-863: “E” (45h) PJ-883: “G” (47h)
5	国別コード	“0” (30h) 固定
6	電池残量情報	下記の表(5)を参照してください。
7	未使用	00h 固定
8	エラー情報 1	下記の表(1)を参照してください。
9	エラー情報 2	下記の表(2)を参照してください。
10	メディア幅	下記の表(6)を参照してください。
11	メディア種類	下記の表(3)を参照してください。
12	色数	00h 固定
13	メディア長(上位バイト)	00h 固定
14	メディアセンサ値	00h 固定
15	モード	01h 固定
16	濃度	00h 固定
17	メディア長(下位バイト)	00h 固定
18	ステータス種類	下記の表(4)を参照してください。
19	フェーズ種類	下記の表(7)を参照してください。
20	フェーズ番号上位バイト	00h 固定
21	フェーズ番号下位バイト	00h 固定
22	通知番号	未使用
23	拡張部バイト数	00h 固定
24-31	予約	00h 固定

(1) エラー情報 1

フラグ	マスク	意味
Bit 0	01h	未使用
Bit 1	02h	未使用
Bit 2	04h	未使用
Bit 3	08h	未使用
Bit 4	10h	本体使用中
Bit 5	20h	電源オフ
Bit 6	40h	未使用
Bit 7	80h	未使用

(2) エラー情報 2

フラグ	マスク	意味
Bit 0	01h	未使用
Bit 1	02h	未使用
Bit 2	04h	通信エラー
Bit 3	08h	未使用
Bit 4	10h	未使用
Bit 5	20h	未使用
Bit 6	40h	未使用
Bit 7	80h	未使用

(3) メディア種類

メディア種類	値	備考
紙なし	00h	
紙あり	01h	

(4) ステータス種類

ステータス種類	値	備考
エラーなし	00h	
(未使用)	01h	
エラー発生	02h	
(未使用)	03h ~ FFh	

(5) 電源状態

値	電池状態	AC アダプター状態
20h	電池残量 フル	非接続
22h	電池残量 ハーフ	非接続
23h	電池残量 ロー	非接続
24h	電池残量 要充電	非接続
30h	電池残量 フル	接続
32h	電池残量 ハーフ	接続
33h	電池残量 ロー	接続
34h	電池残量 要充電	接続
37h	電池無し	接続
上記以外	未定義	未定義

(6) メディア幅

シリーズ	値	備考
紙なし	00h	
紙あり	D2h	

(7) フェーズ種類

機種	値	備考
アイドル状態	00h	
印字状態	01h	

^VR バージョン情報取得

ASCII:	^	V	R
16 進:	5E	56	52

パラメーター

なし

説明

- 本体のバージョン情報を 8 文字の文字列で取得します。

^CR オブジェクト内での改行

ASCII:	^	C	R
16 進:	5E	43	52

パラメーター

なし

説明

- テキストオブジェクトで次の行に改行します。
改行コマンド文字列は変更することが可能です([^RC](#)、[ESC iXR2](#) 参照)

コマンド例

- 3 行印刷させたい場合。

コード: 1 ^ C R 2 ^ C R 3 ^ F F
(31h 5Eh 43h 52h 32h 5Eh 43h 52h 33h 5Eh 46h 46h)

印刷結果:

1
2
3

^OS オブジェクト選択設定（オブジェクト番号）

ASCII:	^	O	S	n1	n2	n3
16進:	5E	4F	53	nh1	nh2	nh3

パラメーター $0 \leq n1 \leq 2$ $0 \leq n2 \leq 9$ $0 \leq n3 \leq 9$ **説明**

- オブジェクト番号から対象オブジェクトを選択します。
 $(n1 \times 100) + (n2 \times 10) + n3$: オブジェクト番号(1～255)

備考

- 設定可能なオブジェクト番号は、1～255 です。
 それ以外の数値を設定しようとした場合は無効になります。
- 途中のオブジェクトからデータを挿入したい場合にこのコマンドを使用します。

コマンド例

- 33 オブジェクト目を選択する場合。

^ O S 0 3 3 (5Eh 4Fh 53h 30h 33h 33h)
--

^ON オブジェクト選択設定（オブジェクト名）

ASCII:	^	O	N	data	00
16 進:	5E	4F	4E	data	00

パラメーター

なし

説明

- オブジェクト名から対象オブジェクトを選択します。
data: 文字列（オブジェクト名）

備考

- 設定可能な文字列の最大長さは、20 文字です。それ以上の長さを指定した時は、コマンドが無効になります。また、文字列がない時も、コマンドが無効になります。
- 文字列の後ろには、00h をつけてください。文字列の終了を意味します。
- 途中のオブジェクトからデータを挿入したい場合にこのコマンドを使用します。

コマンド例

- オブジェクト名が“TEXT1”のオブジェクトを選択する場合。

^ O N T E X T 1 00h (5Eh 4Fh 4Eh 54h 45h 58h 54h 31h 00h)
--

^DI オブジェクト直接挿入

ASCII:	^	D	I	n1	n2	data
16 進:	5E	44	49	n1	n2	data

パラメーター

00h ≤ n1 ≤ FFh

00h ≤ n2 ≤ 78h

説明

- 選択されているテンプレートの選択されているオブジェクトに指定文字数分、文字列を挿入します。
(途中に印刷コマンド、区切り記号がきても、指定文字数内ならデータとして扱われます。)
(n2*256)+n1: 指定文字数(バイト) 最大 30KB (7800h)
data: 文字列

コマンド例

- A が印刷開始文字列に設定されていて、印刷開始トリガーを印刷開始文字列に設定してある場合、手軽に A を印刷したい場合に、下記のコマンドで印刷を実行します。

コード: ^DI 03h 00h 1 A 2 A

(5Eh 44h 49h 03h 00h 31h 41h 32h 41h)

印刷結果: 1A2

8. 各種設定コマンド詳細

ESC iXT2 印刷開始トリガー選択

ASCII:	ESC	i	X	T	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	54	32	01	00	n1

パラメーター

00h ≤ n1 ≤ 02h

説明

- 印刷開始トリガーの種類を選択します。
n1=00h: 設定されている文字列受信時（デフォルト）
n1=01h: 全てのオブジェクトが埋まったとき（最後のデータ後の区切り記号で印刷）
n1=02h: 設定されている文字数受信時（区切り記号は、含まれません。）
- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- n1 が 00h～02h 以外の値の場合は無効になります。

コマンド例

- 印刷開始トリガーを「全てのオブジェクトが埋まったとき」にする場合。

ESC i X T 2 01h 00h 01h
(1Bh 69h 58h 54h 32h 01h 00h 01h)

ESC iXT1 印刷開始トリガー選択項目取得

ASCII:	ESC	i	X	T	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	54	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 印刷開始トリガーを 3 バイトのデータで返信します。

[1]: 01h (固定)

[2]: 00h (固定)

[3]: 設定値

00h: 設定されている文字列受信時

01h: 全てのオブジェクトが埋まったとき

02h: 設定されている文字数受信時

- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 本体に設定されている、印刷開始トリガーを取得します。設定値が、設定されている文字列受信時の場合。

コード: ESC i X T 1 00h 00h

(1Bh 69h 58h 54h 31h 00h 00h)

戻り値: 01h 00h 00h

ESC iXP2 印刷開始コマンド文字列設定

ASCII:	ESC	i	X	P	2	n1	n2	data
16 進:	1B	69	58	50	32	n1	n2	data

パラメーター

$01h \leq n1 \leq 14h$

n2: 00h (固定)

$00h \leq data \leq FFh$

説明

- 印刷開始コマンドの文字列を設定します。
 $n1+(n2*256)$: 文字列の長さ(1~20 まで設定可能)
data: 文字列(設定可能最大文字数は 20 文字(バイト))
- 印刷開始コマンドのデフォルト文字列は“^FF”です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効になります。

コマンド例

- 印刷開始コマンド文字列を“START”に変えたい場合。
設定する文字列(data)は“START”と、5 文字であるため、n1=05h、n2=00h です。
コマンドは以下のようになります。

```
ESC i X P 2 05h 00h S T A R T
(1Bh 69h 58h 50h 32h 05h 00h 53h 54h 41h 52h 54h)
```

ESC iXP1 印刷開始コマンド文字列取得

ASCII:	ESC	i	X	P	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	50	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 印刷開始コマンドの設定文字列を取得します。
- 本体から、3～22 バイトのデータが返信されます。(文字列の長さによってサイズは異なります。)
[1、2]: n1 n2 (文字数) n1+(n2*256)
[3 以降]: 文字列
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 印刷開始コマンド文字列を“START”に設定している場合。

コード: ESC i X P 1 00h 00h
(1Bh 69h 58h 50h 31h 00h 00h)
戻り値: 05h 00h S T A R T
(05h 00h 53h 54h 41h 52h 54h)

ESC iXr2 印刷開始受信文字数設定

ASCII:	ESC	i	X	r	2	02h	00h	n1	n2
16 進:	1B	69	58	72	32	02	00	n1	n2

パラメーター

00h ≤ n1 ≤ FFh

00h ≤ n2 ≤ 03h

説明

- 印刷開始受信文字数を設定します。
n1+(n2*256): 印刷開始受信文字数(1~999)
- 印刷開始受信文字数のデフォルト値は 10 です。
- このコマンドは、静的コマンドです。
- Unicode(UTF-8)設定時は、1~4 バイトで 1 文字として扱われます。

コマンド例

- 印刷受信文字数を 100 文字に変更する場合。
n1=64h、n2=00h になるため、コマンドは以下ようになります。

ESC i X r 2 02h 00h 64h 00h
(1Bh 69h 58h 72h 32h 02h 00h 64h 00h)

ESC iXr1 印刷開始受信文字数取得

ASCII:	ESC	i	X	r	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	72	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 印刷開始受信設定文字数を取得します。
- 本体からは、4 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 02h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3、4]: n1 n2 の設定値
n1+(n2*256): 印刷開始受信文字数
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 印刷受信文字数が 500 文字の場合。

コード: ESC i X r 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 72h 31h 00h 00h)
 戻り値: 02h 00h F4h 01h 244(F4h)+(1(01h)*256)=500 文字です。

ESC iXD2 区切り記号指定

ASCII:	ESC	i	X	D	2	n1	n2	data
16 進:	1B	69	58	44	32	n1	n2	data

パラメーター

01h ≤ n1 ≤ 14h

n2: 00h (固定)

00h ≤ data ≤ FFh

説明

- 区切り記号とは、データの流し込みを、次のオブジェクトに移行したいときに使う記号です。
- 区切り記号の文字列を設定します。
n1+(n2*256): 文字列の長さ (1~20)
data: 文字列 (設定可能最大文字数は 20 文字(バイト))
- 区切り記号のデフォルト文字列は“09h (TAB コード)”です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効になります。

コマンド例

- 区切り記号を“, ” (2Ch) に変えたい場合。

文字列の長さは 1 文字で、n1=01h、n2=00h となり、文字列(data)は“, ” (2Ch) で、コマンドは以下になります。

ESC i X D 2 01h 00h 2Ch
(1Bh 69h 58h 44h 32h 01h 00h 2Ch)

ESC iXD1 区切り記号取得

ASCII:	ESC	i	X	D	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	44	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 区切り記号の設定文字列を取得します。
- 本体から、3～22 バイトのデータが返信されます。(文字列の長さによってサイズは異なります。)

[1、2]: n1 n2 (文字数)
 n1+(n2*256)

[3 以降]: 文字列

- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 区切り記号を", "(2Ch)に設定している場合。

コード: ESC i X D 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 44h 31h 00h 00h)
 戻り値: 01h 00h ,
 (01h 00h 2Ch)

ESC iXa2 読み捨て文字列設定

ASCII:	ESC	i	X	a	2	n1	n2	n3	data
16 進:	1B	69	58	61	32	n1	n2	n3	data

パラメーター

01h ≤ n1 ≤ 15h

n2: 00h (固定)

n3: 01h (固定)

00h ≤ data ≤ FFh

説明

- 読み捨て文字列を設定します。
n1+(n2*256): 文字列の長さ(0~20)+1
data: 文字列(設定可能最大文字数は 20 文字(バイト))
- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効になります。

コマンド例

- 読み捨て文字列を、“ABCD”にしたい場合。
文字列の長さは 4 文字で、n1=05h、n2=00h となり、コマンドは以下ようになります。

ESC i X a 2 05h 00h 01h A B C D
(1Bh 69h 58h 61h 32h 05h 00h 01h 41h 42h 43h 44h)

ESC iXa1 読み捨て文字列取得

ASCII:	ESC	i	X	a	1	01h	00h	01h
16 進:	1B	69	58	61	31	01	00	01

パラメーター

なし

説明

- 読み捨て設定文字列を取得します。
- 本体から、2～22 バイトのデータが返信されます。(文字列の長さによってサイズは異なります。)

[1、2]: n1 n2 (文字数)
 n1+(n2*256)

[3 以降]: 文字列

- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 読み捨て文字列が、“ABCD”の場合。本体に以下のコマンドを送信します。

コード: ESC i X a 1 01h 00h 01h
 (1Bh 69h 58h 61h 31h 01h 00h 01h)
 戻り値: 04h 00h A B C D
 (04h 00h 41h 42h 43h 44h)

ESC iXi2 コマンドモード設定

ASCII:	ESC	i	X	i	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	69	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h 01h 03h 06h

説明

- モードを切り替えます。
 - n3=00h: Raster/ESC/P Legacy モード(デフォルト)
 - n3=03h: P-touch Template モード/ZPL II emulation モード
 - n3=04h: ESC/P Brother モード
- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- 設定可能値以外の値を設定しないでください。

ESC iXi1 コマンドモード設定値取得

ASCII:	ESC	i	X	i	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	69	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- コマンドモードの設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 01h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3]: 00h: Raster/ ESC/P Legacy モード
03h: P-touch Template モード/ZPL II emulation モード
04h: ESC/P Brother モード
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 設定値をラスターモードにしてある場合。

コード: ESC i X i 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 69h 31h 00h 00h)
 戻り値: 01h 00h 00h

ESC iXn2 テンプレート選択設定

ASCII:	ESC	i	X	n	2	01h	00h	n1
16進:	1B	69	58	6E	32	01	00	n1

パラメーター
 $01h \leq n1 \leq FFh$
説明

- 本体で選択しているテンプレートを指定番号にします。
n1: テンプレート番号(1~255)
- 本体選択番号のデフォルト値は、1 です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- 設定可能なテンプレート番号は、1~255 です。
それ以外の数値を設定しようとした場合、または本体に転送されていない番号を指定した場合は、無効になります。

コマンド例

- 選択テンプレート番号を 99 にする場合。
n1=63h になるため、コマンドは以下のようになります。

ESC i X n 2 01h 00h 63h
(1Bh 69h 58h 6Eh 32h 01h 00h 63h)

ESC iXn1 テンプレート選択番号取得

ASCII:	ESC	i	X	n	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	6E	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 本体で選択しているテンプレート番号を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 01h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3]: 設定値
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 選択テンプレート番号が 99 の場合。

コード: ESC i X n 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 6Eh 31h 00h 00h)
 戻り値: 01h 00h 63h

ESC iXf2 プレフィックス文字変更

ASCII:	ESC	i	X	f	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	66	32	01	00	n1

パラメーター

00h ≤ n1 ≤ FFh

説明

- プレフィックス文字コードを変更します。
n1: 文字コード
- プレフィックス文字のデフォルト文字列は“^”です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- プレフィックス文字を、“_”に変更したい場合。

ESC i X f 2 01h 00h 5Fh (“_”)
(1Bh 69h 58h 66h 32h 01h 00h 5Fh) (“5Fh” は ASCII コードで “_” を表します。)

ESC iXf1 プレフィックス設定文字取得

ASCII:	ESC	i	X	f	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	66	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- プレフィックス文字コードを取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 01h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3]: 設定文字
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- プレフィックス文字を、“_”に設定している場合。

コード: ESC i X f 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 66h 31h 00h 00h)

戻り値: 01h 00h _
 (01h 00h 5Fh)

ESC iXm2 文字コードセット選択

ASCII:	ESC	i	X	m	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	6D	32	01	00	n1

パラメーター

00h ≤ n1 ≤ 04h, 10h

説明

- 文字コードセットを選択します。(文字コードセットの詳細に関しては、「[付録B:文字コード一覧表](#)」を参照してください。)
- n1=00h: 予約
 - n1=01h: 予約
 - n1=02h: 予約
 - n1=03h: 予約
 - n1=04h: 日本
 - n1=10h: Unicode(UTF-8)
- n1 に設定可能値以外を設定しないでください。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 文字コードセットを、ブラザー標準にする場合。

```
ESC i X m 2 01h 00h 00h
(1Bh 69h 58h 6Dh 32h 01h 00h 00h)
```

ESC iXm1 文字コードセット設定値取得

ASCII:	ESC	i	X	m	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	6D	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 設定している文字コードセットを取得します。
(文字コードセットの詳細に関しては、「[付録B:文字コード一覧表](#)」を参照してください。)
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 01h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3]: 設定値
 - 00h: 予約
 - 01h: 予約
 - 02h: 予約
 - 03h: 予約
 - 04h: 日本
 - 10h: Unicode(UTF-8)
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 文字コードセットを、ブラザー標準に設定している場合。

コード: ESC i X m 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 6Dh 31h 00h 00h)
 戻り値: 01h 00h 00h

ESC iXj2 国際文字設定

ASCII:	ESC	i	X	j	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	6A	32	01	00	n1

パラメーター

00h ≤ n1 ≤ 0Dh, 40h

説明

- 各国別の文字セットを選択し、n1 の値によりコード表の一部文字コードが切り替わります。

n1=00h: USA

n1=01h: フランス

n1=02h: ドイツ

n1=03h: イギリス

n1=04h: デンマーク I

n1=05h: スウェーデン

n1=06h: イタリア

n1=07h: スペイン I

n1=08h: 日本

n1=09h: ノルウェー

n1=0Ah: デンマーク II

n1=0Bh: スペイン II

n1=0Ch: ラテンアメリカ

n1=0Dh: 韓国

n1=40h: リーガル

- 切り替わるコードは、以下の 12 コードです。

23h 24h 40h 5Bh 5Ch 5Dh 5Eh 60h 7Bh 7Ch 7Dh 7Eh 切り替わる文字に関しては、「付録 B: 文字コード一覧表」の「[国際文字セット表](#)」を参照してください。

- 初期設定は、n1=08h(日本)です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 国際文字設定を USA に変える場合。

```
ESC i X j 2 01h 00h 00h
(1Bh 69h 58h 6Ah 32h 01h 00h 00h)
```

ESC iXj1 国際文字設定値取得

ASCII:	ESC	i	X	j	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	6A	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 国際文字設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。

[1]: 01h (固定)

[2]: 00h (固定)

[3]: 設定値

00h: USA

01h: フランス

02h: ドイツ

03h: イギリス

04h: デンマーク I

05h: スウェーデン

06h: イタリア

07h: スペイン I

08h: 日本

09h: ノルウェー

0Ah: デンマーク II

0Bh: スペイン II

0Ch: ラテンアメリカ

0Dh: 韓国

40h: リーガル

- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 国際文字設定を「日本」にしている場合。

コード: ESC i X j 1 00h 00h

(1Bh 69h 58h 6Ah 31h 00h 00h)

戻り値: 01h 00h 08h

ESC iXR2 改行コマンド文字列設定

ASCII:	ESC	i	X	R	2	n1	n2	data
16 進:	1B	69	58	52	32	n1	n2	data

パラメーター

$01h \leq n1 \leq 14h$

n2: 00h (固定)

$00h \leq data \leq FFh$

説明

- 改行コマンドの文字列を設定します。
 $n1+(n2*256)$: 文字列の長さ(1~20 まで設定可能)
data: 文字列(設定可能最大文字数は 20 文字(バイト))
- 改行コマンドのデフォルト文字列は“^CR”です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

備考

- 20 文字を超える文字を設定しようとした場合は無効になります。

コマンド例

- 改行コマンド文字列を“0Dh 0Ah”に変えたい場合。
設定する文字列(data)は、2 文字であるため、n1=02h、n2=00h です。コマンドは以下ようになります。

ESC i X R 2 02h 00h 0Dh 0Ah
(1Bh 69h 58h 52h 32h 02h 00h 0Dh 0Ah)

ESC iXR1 改行コマンド設定文字列取得

ASCII:	ESC	i	X	R	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	52	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 改行コマンドの設定文字列を取得します。
- 本体から、2～22 バイトのデータが返信されます。(文字列の長さによってサイズは異なります。)

[1、2]: n1 n2 (文字数)
 n1+(n2*256)

[3 以降]: 文字列

- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 改行コマンド文字列を“0Dh 0Ah”に設定している場合。

コード: ESC i X R 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 52h 31h 00h 00h)
 戻り値: 02h 00h 0Dh 0Ah

ESC iXC2 コピー印刷枚数設定

ASCII:	ESC	i	X	C	2	02h	00h	n1	n2
16 進:	1B	69	58	43	32	02	00	n1	n2

パラメーター

$00h \leq n1 \leq FFh$

$00h \leq n2 \leq 03h$

説明

- コピー印刷枚数を設定します。
 $n1+(n2*256)$: コピー印刷枚数(バイト)(1~999)
- コピー印刷枚数のデフォルト値は 1 です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- コピー印刷枚数を 100 枚に変更する場合。
 $n1=64h$, $n2=00h$ になるため、コマンドは以下のようになります。

ESC i X C 2 02h 00h 64h 00h
 (1Bh 69h 58h 43h 32h 02h 00h 64h 00h)

ESC iXC1 コピー印刷枚数設定値取得

ASCII:	ESC	i	X	C	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	43	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- コピー印刷設定枚数を取得します。
- 本体からは、4 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 02h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3, 4]: n1 n2 の設定値
n1+(n2*256): コピー印刷枚数
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- コピー印刷設定枚数が 500 枚の場合。

コード: ESC i X C 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 43h 31h 00h 00h)
 戻り値: 02h 00h F4h 01h 244(F4h)+(1(01h)*256)=500 枚です。

ESC iXN2 ナンバリング印刷枚数設定

ASCII:	ESC	i	X	N	2	02h	00h	n1	n2
16 進:	1B	69	58	4E	32	02	00	n1	n2

パラメーター

$00h \leq n1 \leq FFh$

$00h \leq n2 \leq 03h$

説明

- ナンバリング印刷枚数を設定します。
 $n1+(n2*256)$: ナンバリング印刷枚数(バイト)(1~999)
- ナンバリング印刷枚数のデフォルト値は 1 です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- ナンバリング印刷枚数を 100 枚に変更する場合。
 $n1=64h$ 、 $n2=00h$ になるため、コマンドは以下のようになります。

ESC i X N 2 02h 00h 64h 00h
 (1Bh 69h 58h 4Eh 32h 02h 00h 64h 00h)

ESC iXN1 ナンバリング印刷枚数設定値取得

ASCII:	ESC	i	X	N	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	4E	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- ナンバリング印刷設定枚数を取得します。
- 本体からは、4 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 02h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3、4]: n1 n2 の設定値
n1+(n2*256): ナンバリング印刷枚数
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- ナンバリング印刷設定枚数が 500 枚の場合。

コード: ESC i X N 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 4Eh 31h 00h 00h)
 戻り値: 02h 00h F4h 01h 244(F4h)+(1(01h)*256)=500 枚です。

ESC iXF2 FNC1 置換設定

ASCII:	ESC	i	X	F	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	46	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h 01h

説明

- バーコード規格 GS1-128(UCC/EAN128)などに含まれる GS コードを、FNC1 コードに置き換える機能の ON/OFF を設定します。
n1=00h: FNC1 置換設定 OFF
n1=01h: FNC1 置換設定 ON
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- FNC1 置換を無効にしたい場合。

ESC i X F 2 01h 00h 00h
(1Bh 69h 58h 46h 32h 01h 00h 00h)

ESC iXF1 FNC1 置換設定取得

ASCII:	ESC	i	X	F	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	46	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- FNC1 置換設定を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 01h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3]: 設定値
 - 00h: FNC1 置換設定 OFF
 - 01h: FNC1 置換設定 ON
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- FNC1 置換設定 OFF に設定されている場合。

コード: ESC i X F 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 46h 31h 00h 00h)
 戻り値: 01h 00h 00h

ESC iXE2 バーコード余白有無設定

ASCII:	ESC	i	X	E	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	45	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h, 01h

説明

- バーコード余白有無設定を選択します。
n1=00h: 余白なし
n1=01h: 余白あり
- バーコード余白のデフォルト値は 01h(余白あり)です。
- このコマンドは、静的コマンドです。
- この設定は、2 次元バーコードのみ有効です。

コマンド例

- バーコード余白設定を余白なしにする場合。
n1=00h になるため、コマンドは以下のようになります。

```
ESC i X E 2 01h 00h 00h
(1Bh 69h 58h 45h 32h 01h 00h 00h)
```


ESC iXE1 バーコード余白有無取得

ASCII:	ESC	i	X	E	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	45	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- バーコード余白有無設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 01h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3]: 設定値
 - 00h: 余白なし
 - 01h: 余白あり
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。
- この設定は、2 次元バーコードのみ有効です。

コマンド例

- バーコード余白ありに設定されている場合。

コード: ESC i X E 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 45h 31h 00h 00h)
 戻り値: 01h 00h 01h

ESC iXh2 印刷方向設定

ASCII:	ESC	i	X	h	2	01h	00h	n1
16 進:	1B	69	58	68	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h, 01h

説明

- 印刷方向を選択します。
n1=00h: 回転しない
n1=01h: 180 度回転
- 印刷方向のデフォルト値は 00h(回転しない)です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 印刷方向を 180 度回転にする場合。
n1=01h になるため、コマンドは以下のようになります。

ESC i X h 2 01h 00h 01h
(1Bh 69h 58h 68h 32h 01h 00h 01h)

ESC iXh1 印刷方向取得

ASCII:	ESC	i	X	h	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	68	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 印刷方向設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 01h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3]: 設定値
 - 00h: 回転しない
 - 01h: 180 度回転
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 印刷方向が 180 度回転に設定されている場合。

コード: ESC i X h 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 68h 31h 00h 00h)
 戻り値: 01h 00h 01h

ESC iX^2 印刷停止位置指定

ASCII:	ESC	i	X	^	2	01h	00h	n1
16進:	1B	69	58	5E	32	01	00	n1

パラメーター

n1: 00h, 01h

説明

- 印刷停止位置を選択します。
n1=00h: ティアバー位置で停止（後送り有り）
n1=01h: ヘッド位置で停止（後送り無し）
- デフォルト値は 00h（ティアバー位置で停止）です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 印刷停止位置をヘッド位置に設定する場合。
n1=01h になるため、コマンドは以下のようになります。

ESC i X ^ 2 01h 00h 01h

(1Bh 69h 58h 5Eh 32h 01h 00h 01h)

ESC iX^1 印刷停止位置取得

ASCII:	ESC	i	X	^	1	00h	00h
16 進:	1B	69	58	5E	31	00	00

パラメーター

なし

説明

- 印刷停止位置設定値を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 01h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3]: 設定値
 - 00h: ティアバー位置で停止(後送りあり)
 - 01h: ヘッド位置で停止(後送りなし)
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 印刷停止位置がティアバー位置(00h)に設定されている場合。

コード: ESC i X ^ 1 00h 00h
 (1Bh 69h 58h 5Eh 31h 00h 00h)
 戻り値: 01h 00h 00h

ESC iXv2 (08h) Network Rawポート双方向通信指定

ASCII:	ESC	i	X	v	2	03h	00h	00h	08h	n1
16 進:	1B	69	58	76	32	03	00	00	08	n1

パラメーター

n1: 00h, 07h

説明

- Network Raw ポート通信時の双方向通信設定の有効／無効を切り替えます。
n1=00h: 無効 (デフォルト)
n1=07h: 有効
- デフォルト値は 00h(無効)です。
- 07h(有効)に設定することで、ネットワーク Raw ポート通信時にプリンターから応答を返すようになります。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- Raw ポートでの双方向通信(プリンターからの応答)を有効にする場合。

n1=07h になるため、コマンドは以下のようになります。

ESC i X v 2 03h 00h 00h 08h 07h
(1Bh 69h 58h 76h 32h 03h 00h 00h 08h 07h)

ESC iXv1 (08h) Network Rawポート双方向通信設定取得

ASCII:	ESC	i	X	v	1	03h	00h	00h	08h	00h
16進:	1B	69	58	76	31	03	00	00	08	00

パラメーター

なし

説明

- Network Raw ポート通信時の双方向通信(プリンターからの応答)設定を取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 01h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3]: 設定値
 - 00h: 無効
 - 07h: 有効
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 有効に設定されている場合。

コード: ESC i X v 1 03h 00h 00h 08h 00h
 (1Bh 69h 58h 76h 31h 03h 00h 00h 08h 00h)
 戻り値: 01h 00h 07h

9. 各種設定コマンド詳細(ラスターモード専用)

ESC i O U D 1 n1 全角スペース幅調整有無設定

ASCII:	ESC	i	O	U	D	1	n1
16 進:	1B	69	4F	55	44	31	n1

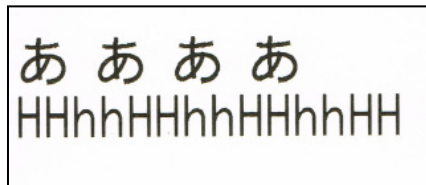
パラメーター

n1: 00h, 01h

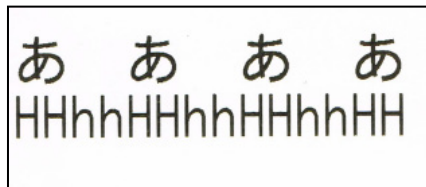
説明

- 全角スペースの幅を半角 2 文字分に合わせるかどうかを設定することができます。

n1=00h: 無効(調整なし)



n1=01h: 有効(調整あり)



- デフォルト値は 01h (有効・調整あり)です。
- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 全角スペース幅調整を無効にする場合。
n1=00h になるため、コマンドは以下のようになります。

ESC i O U D 1 00h
(1Bh 69h 4Fh 55h 44h 31h 00h)

ESC i O U D 0 全角スペース幅調整有無取得

ASCII:	ESC	i	O	U	D	0
16 進:	1B	69	4F	55	44	30

パラメーター

なし

説明

- 現在の全角/半角文字の調整が有効か無効かを取得します。
- 本体からは、3 バイトのデータが返信されます。
 - [1]: 01h (固定)
 - [2]: 00h (固定)
 - [3]: 設定値
 - 00h: 無効
 - 01h: 有効
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 全角スペース幅調整が有効に設定されている場合。

コード: ESC i O U D 0
 (1Bh 69h 4Fh 55h 44h 30h)
 戻り値: 01h 00h 01h

ESC iOUe1 装飾タグ文字列設定

ASCII:	ESC	i	O	U	e	1	n1	n2	n3	data
16 進:	1B	69	4F	55	65	31	n1	n2	n3	data

パラメーター

00h ≤ n1 ≤ 03h

01h ≤ n2 ≤ 08h

n3: 00h (固定)

00h ≤ data ≤ FFh

説明

- 装飾タグ文字列を設定します。

n1=00h: 太字装飾開始タグ(デフォルト文字列は“”)

n1=01h: 太字装飾終了タグ(デフォルト文字列は“”)

n1=02h: 下線装飾開始タグ(デフォルト文字列は“<u>”)

n1=03h: 下線装飾終了タグ(デフォルト文字列は“</u>”)

n2+(n3*256): 文字列の長さ(1~8 まで設定可能)

data: 文字列(設定可能最大文字数は 8 文字(バイト))

- このコマンドは、静的コマンドです。

コマンド例

- 太字装飾開始タグ文字列を“&b”に変更する場合。

文字列の長さは 2 文字で、n3=02h となり、コマンドは以下のようになります。

ESC i O U e 1 00h 02h 00h 26h 62h

(1Bh 69h 4Fh 55h 65h 31h 00h 02h 00h 26h 62h)

- 太字装飾終了タグ文字列を“&&b”に変更する場合。

文字列の長さは 3 文字で、n2=03h となり、コマンドは以下のようになります。

ESC i O U e 1 01h 03h 00h 26h 26h 62h

(1Bh 69h 4Fh 55h 65h 31h 01h 03h 00h 26h 26h 62h)

ESC iOUe0 装飾タグ文字列取得

ASCII:	ESC	i	O	U	e	0	n1	n2	n3
16 進:	1B	69	4F	55	65	30	n1	n2	n3

パラメーター

00h ≤ n1 ≤ 03h

n2: 00h (固定)

n3: 00h (固定)

説明

- 装飾タグを選択し、設定文字列を取得します。
 - n1=00h: 太字装飾開始タグ
 - n1=01h: 太字装飾終了タグ
 - n1=02h: 下線装飾開始タグ
 - n1=03h: 下線装飾終了タグ
 - 本体から、2～10 バイトのデータが返信されます。(文字列の長さによってサイズは異なります。)
- [1, 2]: n1 n2 (文字数)
 n1+(n2*256)
- [3 以降]: 文字列
- 取得値は、静的コマンドで設定した値です。

コマンド例

- 太字装飾開始タグ文字列を"&b"に設定している場合。

コード: ESC i O U e 0 00h 00h 00h
 (1Bh 69h 4Fh 55h 65h 30h 00h 00h 00h)
 戻り値: 02h 00h 26h 62h

- 太字装飾終了タグ文字列を"&&b"に設定している場合。

コード: ESC i O U e 0 01h 00h 00h
 (1Bh 69h 4Fh 55h 65h 30h 01h 00h 00h)
 戻り値: 03h 00h 26h 26h 62h

10. プリンター制御コマンド詳細

ESC i a コマンドモード切替

ASCII:	ESC	i	a	n
16 進:	1B	69	61	n

パラメーター

n: コマンドモード

説明

- モードを切り替えます。
 - n=00h または 30h: Raster/ESC/P Legacy モード(デフォルト)
 - n=03h または 33h: P-touch Template モード/ZPL II emulation モード
 - n=04h または 34h ESC/P Brother モード
 - n=FFh 初期値に戻る ([ESC iXi2 コマンドモード設定](#) 参照)
- 動的にコマンドモードを切り替えます。
- FFh (255) を指定すると、本体の電源オン初期値に戻ります。
- 範囲外の値を設定しないでください。

ESC i U x 再起動

ASCII:	ESC	i	U	x
16 進:	1B	69	55	78

パラメーター

なし

説明

- 本体を再起動します。
- 本コマンドはラスターモードで実行する必要があります。コマンドを送信する前にコマンドモードを変更してください。

[ESC i a コマンドモード切替](#) を参照ください。

ESC i S ステータスリクエスト

ASCII:	ESC	i	S
16 進:	1B	69	53

パラメーター

なし

説明

- プリンターステータスが返信されます。プリンターステータスは 32 バイトで構成されます。
- コマンドの応答内容は [^SR](#) と同様です。[^SR](#) のページを参照ください。
- 本コマンドは印刷動作中に応答を返しません。

11. ZPL II エミュレーションサポートコマンド

ZPL II は、日本語フォントをダウンロードすることで日本語印刷ができます。フォントの転送方法など詳細は開発者サイトをご確認ください。

ZPL II	名称	備考
^A	Select font	
^A@	Select font	
^B0	Aztec	
^B2	Interleaved 2 of 5	
^B3	Code39	
^B7	PDF417	
^B8	EAN-8	
^B9	UPC-E	
^BA	Code93	・添え字の先頭と末尾に「□」は、付与されません。
^BC	Code128	
^BD	MaxiCode	
^BE	EAN-13	
^BF	MicroPDF417	
^BI	Industrial 2 of 5	
^BJ	Standard 2 of 5	
^BK	ANSI CodaBar	
^BM	MSI/Plessey	
^BO	Aztec	
^BQ	QR Code	・マスクパターンは、固定です。 ・混在モードは、非対応です。
^BR	GS1 Databar	・UPC-A、UPC-E、EAN-13、EAN-8、UCC/EAN-128 and CC-A/B、 UCC/EAN-128 and CC-C は、非対応です。
^BS	UPC-EAN Extension	

ZPL II	名称	備考
^BU	UPC-A	・添え字を無効にした場合、ガードバーは無効になります。 ・添え字の大きさは、モジュール幅の大きさに合わせて変化しません。
^BX	DataMatrix	・エラー訂正レベルは、200 固定です。
^BY	Bar setting for barcodes	
^BZ	POSTAL	・Postnet および IMB に、対応しています。
^CC	Change prefix ^	
~CC	Change prefix ^	
^CD	Change delimiter character	
~CD	Change delimiter character	
^CF	Change default font	
^CI	Change international character set	・1 バイトコード(国際文字設定)および UTF-8 に、対応しています。
^CT	Change prefix ~	
~CT	Change prefix ~	
^CW	Name downloaded font with 1 alphanumeric character.	・TTE ファイルは、非対応です。
^DB	Download bitmap font	
~DB	Download bitmap font	
^DF	Download format	
^DG	Download graphic	
~DG	Download graphic	
^EF	Clear all formats in RAM except GRF	
~EF	Clear all formats in RAM except GRF	
^EG	Clear all GRF	
~EG	Clear all GRF	
^FA	Allocate space for the field to be saved	
^FB	Set field block	
^FD	Set input data area	
^FH	Use hexadecimal character for input data	
^FN	Set data area as a number	

ZPL II	名称	備考
^FO	Set position from home position of label	
^FP	Set field parameter	・バーコード添え字への設定は、無効です。 ・フィールドブロックへの縦書き指定は、無効です。
^FR	Reverse field color	
^FS	Point to last position of field	
^FT	Set position of field	
^FV	Set the number of data to be inserted in field	
^FW	Set the default orientation	
^GB	Draw box	
^GC	Graphic circle	
^GD	Graphic diagonal line	
^GE	Graphic ellipse	
^GF	Graphic field	・圧縮データは、非対応です。
^GS	GS fonts	・登録商標マークおよび著作権マーク、トレードマークに、対応しています。
^HG	Return graphic data to host	
~HI	Retrieve printer information	
^ID	Delete image file	
^IL	Recall image files stored with ^IS	
^IM	Recall image files	
^IS	Store image files	
~JA	Cancel format	

ZPL II	名称	備考
^JB	Initialize memory	
~JP	Clear format holding ~JP	
~JR	Initialize when printer turned on	
^KL	Set language	・コントロールパネルの言語設定は、非対応です。
^LH	Set home position of label	
^LL	Set label length	
^LR	Reverse field data color	
^LS	Set horizontal print position	
^LT	Set vertical print position	
^MC	Clear data after printing	
^MU	Unit setting	・解像度の設定は、非対応です。モデルの解像度に従って動作します。
^PM	Mirror printing	
^PO	Upside-down printing	
^PQ	Copy printing	・一時停止の指定は、非対応です。
^PW	Set print width	
^SF	Serialization	
^SN	Serialization	
~WC	Print printer settings	
^WD	Print list of stored files	
^XA	Command required at beginning of format	・STX への置き換えは、非対応です。
^XF	Recall format stored with ^DF	
^XG	Recall format stored with ^DG or ^DG	
^XZ	Command required at end of format	

付録 A: 仕様

PJ-8XX P-touch Template 2.0 の仕様は下記のとおりです。

機種		PJ-823	PJ-863	PJ-883
印 字	印刷モード		<u>Raster/ESC/P Legacy モード</u> P-touch Template / ZPL II emulation ESC/P(Brother)	
	最大印字長		2.54 m	
	解像度 (dpi)		300 dpi × 300 dpi	
	テキスト	フォント	欧文: ヘルシキ、ブリュッセル、レターゴシック (アウトラインフォント) 和文: ゴシック (JIS 第 1 水準・第 2 水準、アウトラインフォント) フォントダウンロードのサポート (TrueType/OpenType)	
		サイズ (ドット)	最大 400 ドット	
		文字スタイル	なし、ボールド、イタリック、アウトライン、シャドウ、 シャドウ+アウトライン	
		水平位置	左寄せ、中寄せ、右寄せ	
		回転	垂直、水平	
	バーコード	規格	CODE39, ITF (I-2/5), EAN-13, EAN-8, UPC-A, UPC-E, CODABAR, CODE128, GS1-128 (UCC/EAN-128), GS1 Databar (Omni, Truncated, Stacked, Stacked Omni, Limited, Expanded, Expanded Stacked), POSTNET, Intelligent Mail Barcode, GS1 Databar Composite, QR Code, PDF417, Data Matrix, MaxiCode, Aztec,	
		幅	大、中、小、極小	
ユーザー領域(利用可能領域)		42MB		
インターフェース		USB	USB Bluetooth	USB Bluetooth WLAN
その他	カッター対応	—		

太字でアンダーラインの項目は、初期値です。

付録 B: 文字コード一覧表

文字コード一覧表

日本文字コード表

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0			SP	0	@	P	`	p	_		SP	一	タ	ミ		
1			!	1	A	Q	a	q			。	ア	チ	ム		
2			"	2	B	R	b	r			「	イ	ツ	メ		
3			#	3	C	S	c	s			」	ウ	テ	モ		
4			\$	4	D	T	d	t			、	エ	ト	ヤ		
5			%	5	E	U	e	u			・	オ	ナ	ユ		
6			&	6	F	V	f	v			ヲ	カ	ニ	ヨ		
7			'	7	G	W	g	w			ァ	キ	ヌ	ラ		
8			(	8	H	X	h	x			ィ	ク	ネ	リ		
9			)	9	I	Y	i	y			ゥ	ケ	ノ	ル		
A			*	:	J	Z	j	z			ェ	コ	ハ	レ		
B			+	;	K	[	k	{			ォ	サ	ヒ	ロ		
C			,	<	L	\	l				ャ	シ	フ	ワ		
D			-	=	M	]	m	}			ュ	ス	ヘ	ン		
E			.	>	N	^	n	~			ョ	セ	ホ	ッ		
F			/	?	O	_	o	DEL			ッ	ソ	マ	。		

注意:

" ■ " はスペースとなります。

" ■ " は、国際文字セットを切り替えると文字コードが切り替わります。

国際文字セット表

国際文字セットの設定を変更すると、その言語に対応した文字に切り替わります。

n		23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
0	合衆国 (U.S.A)	#	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
1	フランス	#	\$	à	°	ç	§	^	`	é	ù	è	¨
2	ドイツ	#	\$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
3	イギリス (U.K.)	£	\$	@	[	\	]	^	`	{		}	~
4	デンマーク I	#	\$	@	Æ	Ø	Å	^	`	æ	ø	å	~
5	スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü
6	イタリア	#	\$	@	°	\	é	^	ù	à	ò	è	ì
7	スペイン I	Pt	\$	@	ı	Ñ	ı	^	`	¨	ñ	}	~
8	日本	#	\$	@	[	¥	]	^	`	{		}	~
9	ノルウェー	#	¤	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
10	デンマーク II	#	\$	É	Æ	Ø	Å	Ü	é	æ	ø	å	ü
11	スペイン II	#	\$	á	ı	Ñ	ı	é	`	í	ñ	ó	ú
12	ラテンアメリカ	#	\$	á	ı	Ñ	ı	é	ü	í	ñ	ó	ú
13	韓国	#	\$	@	[	₩	]	^	`	{		}	~
64	リーガル	#	\$	§	°	'	"	¶	`	©	®	†	™

付録 C: トラブルシューティング

印刷が開始されない場合（よくある主な原因）

- (1) 通信設定があっていません。
- (2) コマンドモードが、P-touch Template モードになっていません。
- (3) 印刷開始トリガーの条件を満たしていません。

印刷開始トリガーには下記の 3 つの種類がありますが、この選択が正しくありません。

- 設定されている文字列受信時
- 全てのオブジェクトが埋まったとき
- 設定されている文字数受信時

上記設定が正しくないときは、本体設定ツールを使って設定をしてください。

バーコードが印刷されない（よくある主な原因）

- (1) バーコードのサイズが用紙に対して大きい／印刷領域をオーバーしている

バーコードが印字領域内に収まらないと判断される場合、プリンターはバーコードを出力しません。

バーコードを小さくするか、または位置を修正したうえで再度お試しください。

付録 D: 開発者ツールサイト(Brother Developer Center)のご紹介

下記のサイトに、開発者の方に役立つ情報を掲載しております。ぜひご参照下さい。

- ・アプリケーション、ツール、SDK の紹介
- ・操作手順動画
- ・よくある質問

<https://support.brother.co.jp/j/s/es/dev/ja/index.html?navi=offall>

brother